Panasonic

在宅向け電動ケアベッド

コンフォーネ

COMFORNE

取扱説明書

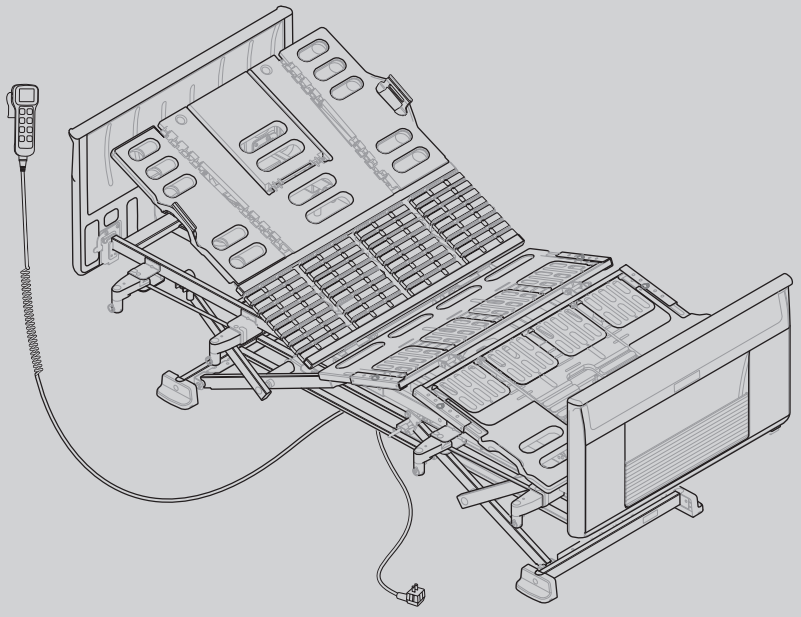
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」(2〜8ページ参照)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

使用目的

このベッドは、療養･介護に使用されることを目的に作られています。

お使いになる前に ベッドを操作される方には、正しい使いかたを必ず説明してください。



安全上のご注意	2
各部のなまえ	9
ご使用になる前に	10
使いかた	10
手動でボトムを下げる	23
介護リフト使用時のご注意	26
オプション品	26
オプション品一覧(JIS 認証取得表)	30
定期点検	31
愛情点検表	31
お手入れのしかた	32
故障かな？と思ったとき	33
長期保管について	33
ベッドの移動・設置	34
仕様	36
【 施工説明 】	
部品・部材の確認	39
ベッドの組み立てかた	41
組み立て後の点検	52
保証とアフターサービス	裏表紙

保証書別添付

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

禁止

- **ぬれた手で電源プラグを抜いたり接続をしない**
- **手元スイッチ・モーター・電源プラグに水をかけない**
- **電源コードや電源プラグが、傷んでいたり、熱くなっていたり、コンセントの差し込みがゆるい状態で使用しない**
  ・以上のことを守らないと、感電や火災・故障の原因となります。
- **電源コード・プラグを破損するようなことはしない**
  （傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、束ねるなど）
  ・傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
  ・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
- **12 歳以下のお子様や、認知症の方など自分で適切に操作できない方には、操作させない**
- **うつぶせ、横向きに寝た状態で背上げしない**
  ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。
- **ベッドの近くでストーブなどの熱器具を使用しない**
  ・火災の原因となります。
- **背上げ、ひざ上げ状態のところに腰かけたり、大きな力をかけない**
  ・守らないと、事故やけがの原因となります。
- **湿気・砂・ほこりの多い場所で使用しない**
  ・火災の原因となります。
- **電子治療器を使用するときは電源プラグを抜く**
- **ベースフレームに足を掛けたり、足先を入れない**
  ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

分解禁止

- **分解・修理・改造をしない**
  ・異常動作による事故や火災の原因となります。

必ず守る

- **医師に相談してから使用する**
  ・医師に相談しないと、使用する方により、背上げ・ひざ上げで症状悪化の原因となります。
- **身体に不自由のある利用者は操作しないこと**
  ・足のはさみ込みの範囲での報知音がきこえないことや、リモコンでのはさみ込み注意の表示が見えないことによりベッドに足をはさみ込んでけがをするおそれがあります。
- **乳幼児やお子様には使用しない**
  ・本製品は、乳幼児やお子様向けには設計されていません。
  ・サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
  ・サイドレールを使用していても、すき間から転落してけがをするおそれがあります。

⚠警告

必ず守る

- 操作を理解できない方が操作するおそれのあるときは、手元スイッチの電源を切にするか、電源プラグをコンセントから抜き、必要なときだけ動作させる
  ・手元スイッチの電源を切にするか、電源プラグを抜いておかないと、誤操作による事故の原因となります。
- オプション品一覧（JIS認証取得表）（30ページ参照）に記載の適合品を使用する
  ・意図しないすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- 安全使用荷重1700N（約174kg）、最大使用者体重120kgを守る
  この荷重は、人、マットレス、サイドレールなどの質量を含む
- ベッドは1人用のため、2人以上で使用しない
- ベッドを組立、分解、運搬する際は2人で作業する
- 組立時は手袋をする
  ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。
- ベッドを搬送する際は、足下に注意する
  ・脚座などに足をぶつけたり足がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドを移動する際は、ボード受金具を持って移動する
  ・サイドレールなどを持つとサイドレールなどに大きな力がかかり、破損・変形するおそれがあります。
- スピードピンを扱うときはラジオペンチやプライヤーを使う
  ・守らないと、事故やけがの原因となります。
- ボードは正しい向き（50ページ参照）になっていることを確認した上で取り付ける
  ・誤って使用すると、意図しないすき間の発生や製品同士の干渉、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障するおそれがあります。
- サイドレールは、正しい向きで取り付ける
  ・頭などをはさみ込み、事故やけがの原因となります。
- サイドレール・ベッド用グリップなどを取り付ける際は、オプションホルダーに異物が入っていないことを確認する
  ・異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドから転落したり、けがをするおそれがあります。
  ・ベッドの乗り降りなどの際に転落・転倒して、けがをするおそれがあります。
- 施工時にヘッドアップボトム、サイドアップボトムの開閉に注意する
  ・ヘッドアップボトム、サイドアップボトムはフリーホイール構造のため、急な開閉により破損・落下、けがをするおそれがあります。
- ベッドの下に物を置かない
- サイドアップや大腿長調整、ヘッドアップなど、ベッドが確実に固定されていることを確認する
- サイドアップやフットアップ切り換えなどの切換え作業が途中で終わっていないこと
- 各締め付け部分に緩みはないか点検する
- 組み立て後、使用前は必ず点検する
- 定期的に点検やお手入れをする
  ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。
- 交流100Vで使用する
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
  ・差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源コード、手元スイッチのコード類の配線は、組み立てかたの配線方法を守る
- お手入れの時は電源プラグをコンセントから抜く
  ・以上のことを守らないと、感電や火災の原因となります。

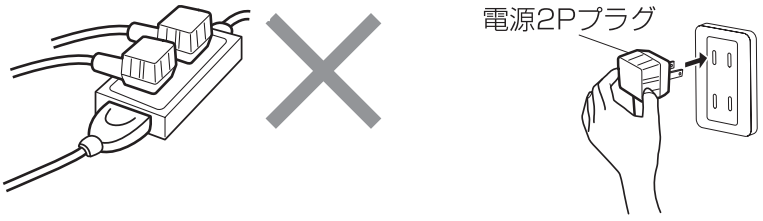
⚠警告

必ず守る

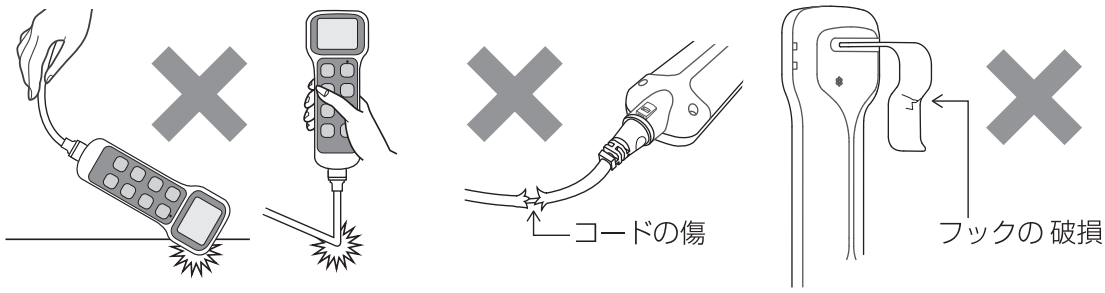
● **電源コードや手元スイッチのコードに足を引っ掛けない**
・プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
・転倒して、けがをするおそれがあります。

● **電源プラグを抜く時は電源コードを持たず、電源プラグを持って抜く**
・守らないと、感電や火災の原因となります。

● **タコ足配線は行わない**
・電源コンセントはベッド1台ごとに適正配線された単相交流100 V・15 A以上のコンセントをご使用になり、電源2Pプラグをコンセントに確実に差し込んでください。
・延長コード・テーブルタップなどを使用すると、火災の原因となります。



● **手元スイッチ、モーター、コントローラボックスなどの電装品の取り扱いに注意する**
・ベッドが誤動作してけがをしたり、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
・ぶつけたり傷つけないでください。
・落としたり、コードを無理に引っ張らないでください。
・傷んだ手元スイッチなどの電装品は修理（交換）を依頼してください。



● **異常を感じたときは、すぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜く**
・守らないと、感電や火災の原因となります。

● **電源コードはコンフォーネ以外で使用しない**
・電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

● **電源プラグのほこり等は定期的にとる**
・プラグに埃などがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

● **電源をリセットした（コンセントを抜き差しした）場合は、必ずベッドの高さを最下位点まで下降させる**
・守らないと、ベッドが水平にならず、事故の原因となります。

● **手元スイッチ、モーター、コントローラボックスが断線している場合には修理を依頼する**
・守らないと、事故やけがの原因となります。

● **長期間使用しない時は電源プラグをコンセントから抜く**
・絶縁劣化し火災・感電の原因となります。

● **モーターおよびコントローラボックスには手を触れないこと**
・守らないと、事故やけがの原因となります。

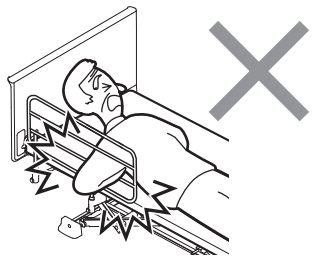
⚠警告

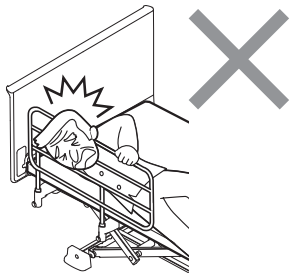
必ず守る

● すき間に注意する

・ベッドや専用オプション品にはすき間があります。また、専用オプション品を組み合わせるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）がはさまれて、けがをするおそれがあります。①～⑧の項目に注意してください。

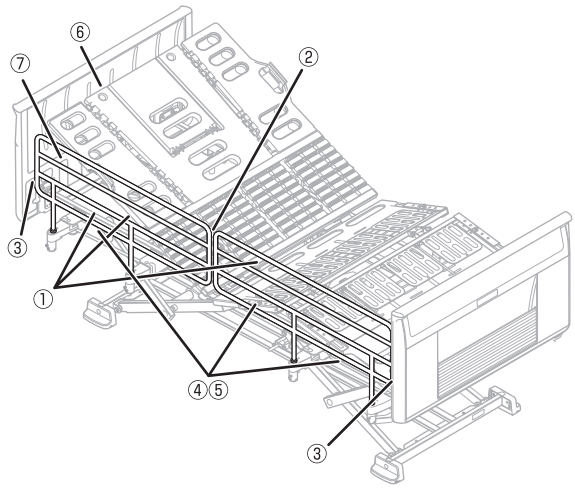
・特に、予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



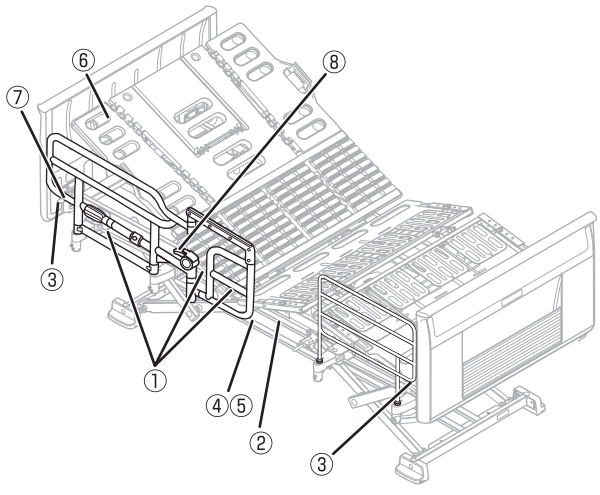


①サイドレール・ベッド用グリップなどの内部のすき間
②2本のサイドレールなどのすき間
③サイドレール・ベッド用グリップなどとボードのすき間
④サイドレール・ベッド用グリップなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
⑤サイドレール・ベッド用グリップなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
⑥ボードとボトム・マットレスのすき間
⑦あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間
⑧ベッド用グリップの操作レバー

サイドレール



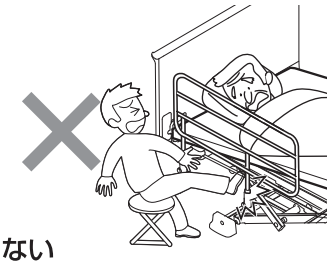
ベッド用グリップ



⚠警告

必ず守る

- **各部を操作するときは、手指をはさまないように注意する**
- **ベッドと壁や周りのものに、はさまれないように注意する**
  - ・身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
  - ・特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- **ベッドの高さを上げるときに、サイドテーブルなどで体をはさまないよう注意する**
- **オプションホルダーを使用しないときは収納する**
- **オプションホルダーの穴に指を入れないように注意する**
- **背やひざ・足ボトム上げの時のサイドレールやグリップに人体やその一部をはさみ込まないように注意する**
- **サイドアップ時にグリップやサイドレール、ぴったりラインに腕がはさまれないように注意する**
- **回転部や駆動部に指を巻き込まれないように注意する**
- **開口部や隙間に指を入れない**
- **可動部に手や腕など、人体をはさまないように注意する**
  - ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。



- **ベッドの高さを下げるときは、ベースフレームの上に足を入れない**
  - ・はさまれて、けがをするおそれがあります。
- **ベッド動作時、操作レバーに衣類・毛布・掛け布団などを引っかけない**
- **オプション品や突起物に衣類などが絡まないよう注意する**
  - ・衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。
  - ・ベッドの乗り降りなどの際に転落・転倒して、けがをするおそれがあります。
- **ぴったりラインに指をはさまないように注意する**
  - ・身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- **オプションホルダーに手をつかない**
  - ・バランスを崩し転倒したり、ボードとサイドレール、サイドレールとサイドレールなどの間に手指がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- **使用する人が転落する恐れがある場合は、サイドレールを設置する**
  - ・守らないと、事故やけがの原因となります。
- **サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意する**
  - ・サイドレールとサイドレール、ボードとサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
  - ・サイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
  - ・厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。
  - ・ベッドの背を上げた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
  - ・特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- **使用者を搬送する際は、サイドレールを使用する**
  - ・使用者がベッドから転落して、けがをするおそれがあります。
- **サイドテーブルを使用中はベッドを動作しない**
  - ・サイドテーブルの脚部が、ベッドのモーター部などにあたり、破損・変形・けがなどをする原因となります。
- **ボトムの角度やベッドの高さを調節する際は、使用者の状態に注意する**
  - ・使用者がボトムの角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。特に自分で体位を保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

⚠警告

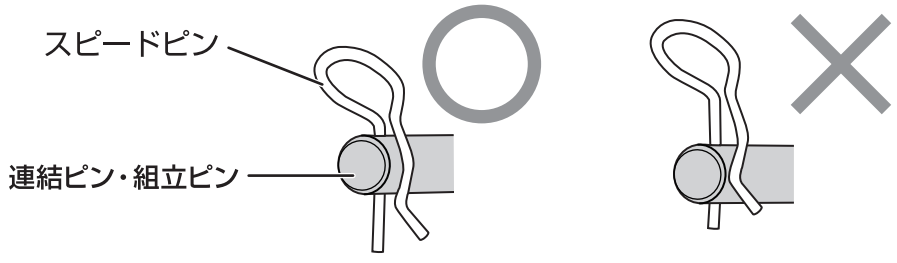
必ず守る

- **サイドレール・ベッド用グリップ・オプションホルダーなどやヘッドボード・フットボードに腰かけたり、上に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったり大きな衝撃をかけたりしない**
  - ・ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやサイドレール・ベッド用グリップ・オプションホルダー・ヘッドボード・フットボードなどが破損・変形して、けがをするおそれがあります。
- **使用者から目を離したり、ベッドから離れる際は、ボトムの角度やベッドの高さに注意する**
  - ・介護者・医師・付き添いの方などが使用者から目を離したり、ベッドから離れる際は、万一のベッドからの転落に備え、状況に応じてボトムの角度を水平（フラット）にして、ベッドの高さを一番低い位置にしてください。
- **ベッド操作時およびリフト操作時はリフトの周囲に注意する**
  - ・ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たってけがをするおそれがあります。
  - ・ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たって破損するおそれがあります。
  - ・ハンガーフックがサイドレールなどに引っ掛かり、リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
  - ・ベッドとリフトの脚部やモーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。
- **リフトの脚をベッドの下に差込んでいるときは、リフト脚部のロックを行わない**
  - ・ベッド操作のときにベッドとリフトの脚部やモーター部などが当たると、リフトが転倒してけがをしたり、ベッドやリフトが破損・変形するおそれがあります。
- **リフトやサイドテーブルの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしない**
  - ・電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。
- **ひざ・足ボトムを上げたまま、足ボトムのフットアップ切り換えを行わない**
- **キャスターを付けていない時に、ベッドを押して移動させない**
- **ベッドを移動するときは、キャスターのロックをすべて解除する(キャスター使用時)**
  - ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。
- **ベッドを押して移動する場合、段差を移動させない（キャスター使用時）**
  - ・ベッドと段差が衝突し、ベッドや段差が破損・変形するおそれがあります。
- **ボードやサイドレールなどに抑制帯を取り付けない**
  - ・不意に外れてけがをしたり、ボードやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
- **マットレス止金具に抑制帯を取り付けた状態で、背上げやひざ上げなどのベッド操作を行わない**
  - ・使用者の身体が締め付けられてけがをしたり、ベッドが破損・変形するおそれがあります。
  - ・使用者や付き添いの方などが手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
  - ・電源ボタンで操作を禁止する。（12ページ参照）
  - ・電源プラグを抜く。
- **畳やじゅうたんの上で長時間使用する場合は、脚座やキャスターの下に脚座ゴムシートを（PN-S105038）敷いてください**
  - ・畳やじゅうたんがへこむおそれがあります。
- **サイドテーブルの脚とベッドのベースユニットが接触しないように注意する**
  - ・サイドテーブルが転倒してけがをしたり、ベッドやリフトが破損・変形するおそれがあります。
- **背足連動切り換えレバーを操作する場合は、ひざ・足ボトムに手や腕や指などがはさまれないように注意する（2モーションタイプ）**
  - ・守らないと、事故やけがの原因となります。

⚠警告

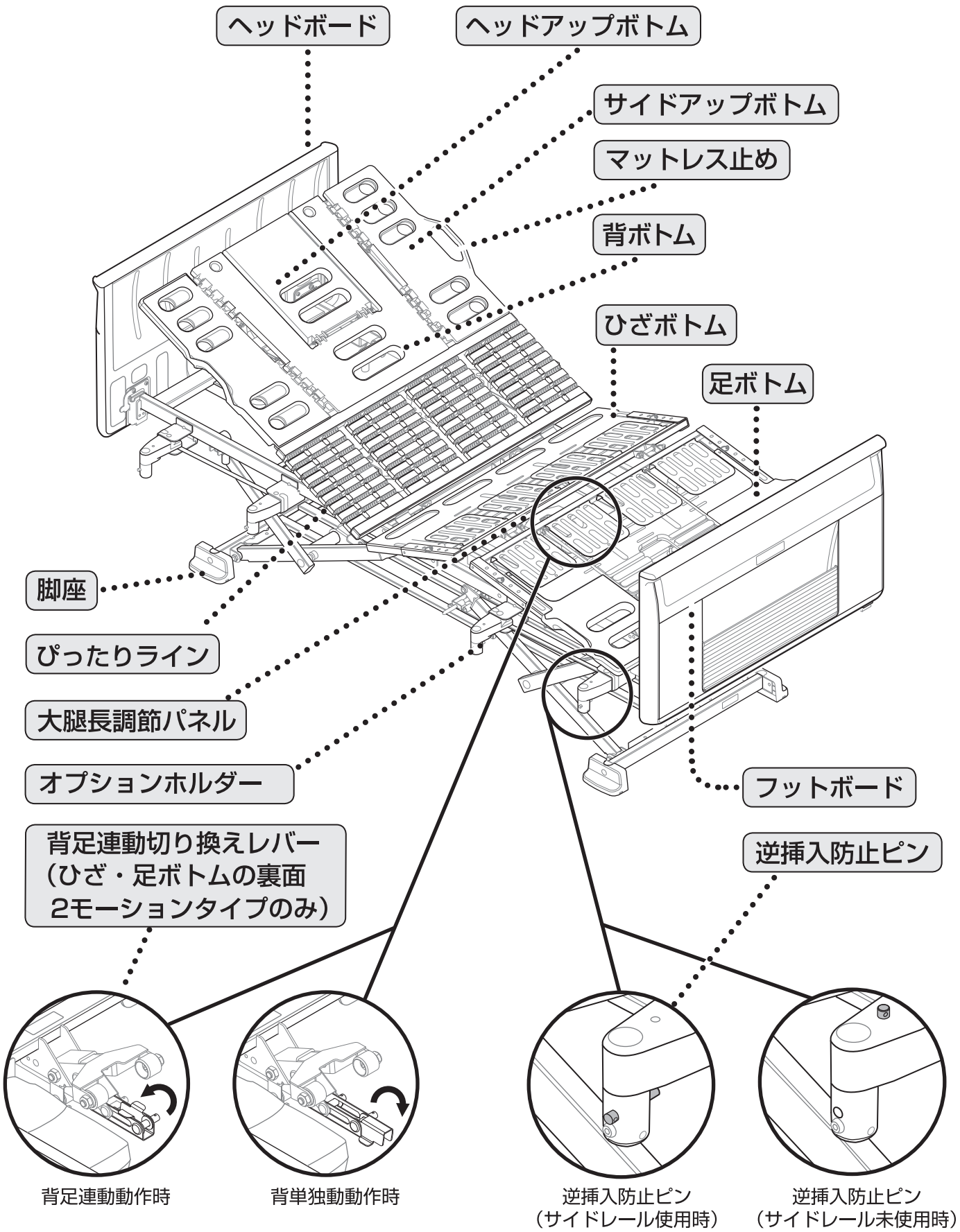
必ず守る

- ベッドは正しい位置にセットする
- ベッドを移動するとき以外はキャスターのロックをかける(キャスター使用時)
- 段差のある路面での移動は避ける
- ベッドで遊ばない（遊ばせない）
- 勢いよく移乗したり、手荒に扱わない
- ベッドの上で立ち上がったり、飛び跳ねたりしない（させない）
- ベッド中央の正しい位置で使用する
- ベッドの頭側に頭を向けて使用する
- マットレスを敷いて使用する
- 操作するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してから行う
  ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。
- 小物（逆挿入防止ピンなど）は飲み込まないように定位置に収納する
  ・飲み込んでしまう可能性があります。
- ベッド付近では携帯電話などを使用しない
  ・ベッド誤動作の原因となる場合や、他の医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- 被災したベッドは点検・修理を依頼する
  ・地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口まで、点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。
- 殺虫剤などの薬剤をベッドに直接噴射しない
  ・殺虫剤など含まれる溶剤によって、ベッドの脚座や他の樹脂部分が破損・変色・溶解するおそれがあります。
  また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがありますので、十分ご注意ください。
- 組み立て時、スピードピンは連結ピン・組立ピンにしっかり差し込む
  ・守らないと、事故やけがの原因となります。



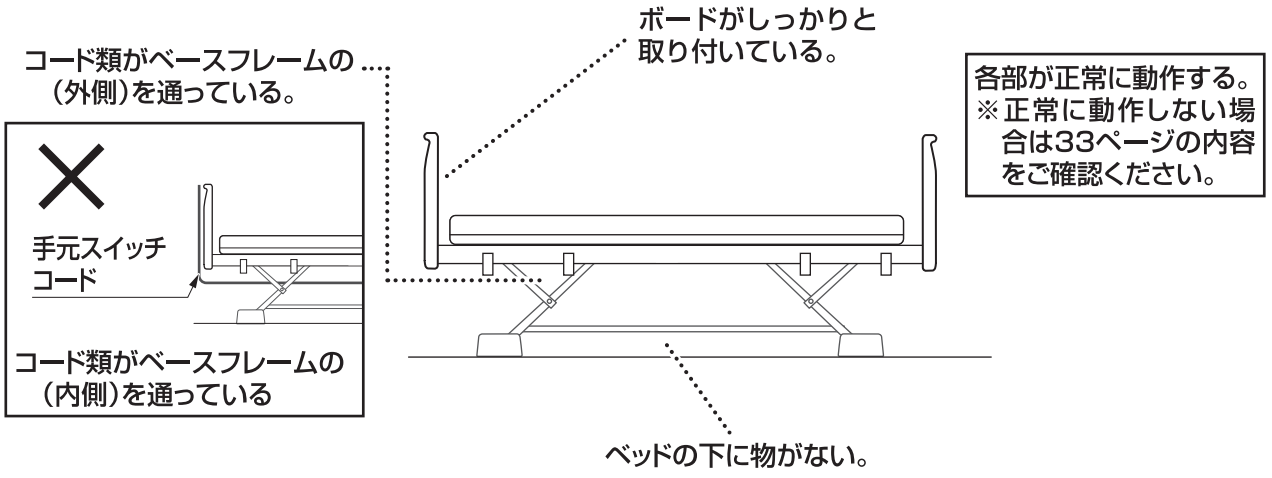
- 収納カバーに寄りかかったり、手でつかまって力を加えたりしない
  ・収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをするおそれがあります。
- 耐荷重を超えるものを入れない
  ・収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをするおそれがあります。
- 収納物が収納カバーから飛び出した状態にしない
  ・ベッドの動作時に接触し、ヘッドや収納物が破損するおそれがあります。
- 収納カバーにものを引っかけたり、外側から力をかけたりしない
- 収納物を取出すときは、収納カバーに外向きの力を無理に加えない
  ・以上のことを守らないと、収納カバーがフットボードから外れたり、破損するおそれがあります。
- メガネなど壊れやすいものをいれるときはケースなどに入れてから収納カバーに入れる
  ・破損するおそれがあります。

各部のなまえ


ヘッドボード
ヘッドアップボトム
サイドアップボトム
マットレス止め
背ボトム
ひざボトム
足ボトム
脚座
ぴったりライン
大腿長調節パネル
オプションホルダー
背足連動切り換えレバー
（ひざ・足ボトムの裏面
2モーションタイプのみ）
フットボード
逆挿入防止ピン
背足連動動作時
背単独動作時
逆挿入防止ピン
（サイドレール使用時）
逆挿入防止ピン
（サイドレール未使用時）

ご使用になる前に

ベッドを設置して初めて使用される前に、以下のことを確認してください。



キャスターを使用しており、以下の場合は販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合せください。

・ストッパーの機能が低下してきた

・車輪部に変色・亀裂などがある

使いかた

⚠警告

禁止	●12 歳以下のお子様や、認知症の方など自分で適切に操作できない方には、操作させない ・守らないと、事故やけがの原因となります。 ●手元スイッチ・モーター・電源プラグに水をかけない ・感電や火災・故障の原因となります。
必ず守る	●電源をリセットした（コンセントを抜いた）場合は、必ずベッドの高さを最下位点まで下降させる ・守らないと、ベッドが水平にならず、事故の原因となります。 ●手元スイッチが断線している場合には修理を依頼する ・誤動作の原因となります。

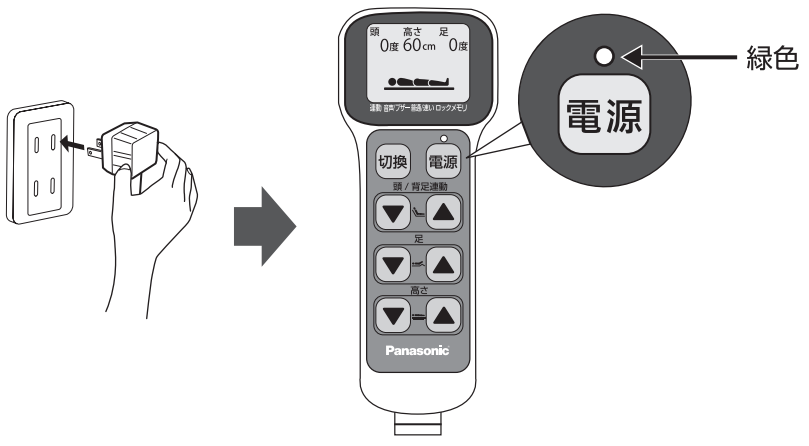
⚠注意

必ず守る	●操作を理解できない方が操作するおそれがあるときは、手元スイッチの電源を切にするか、電源プラグをコンセントから抜き、必要なときだけ動作させる ・手元スイッチの電源を切にするか、電源プラグを抜いておかないと、誤操作による事故の原因となります。

使いかた

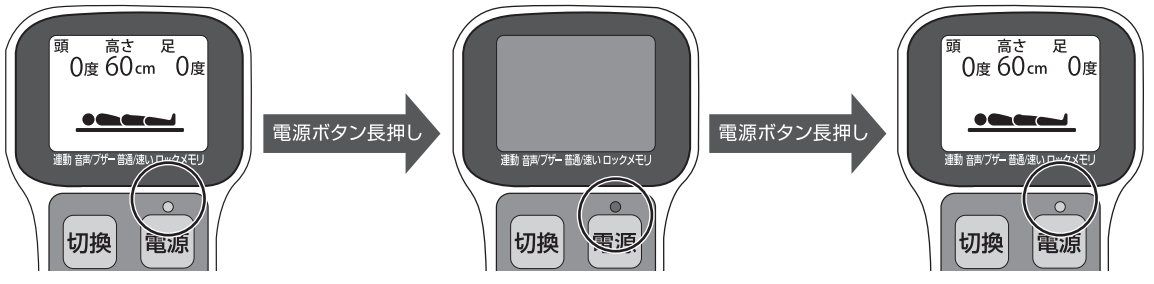
1 ベッドの電源を入れる

・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込み、
手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯していることを確認してください。



● 電源の ON と OFF

・電源ボタンを長押する。電源ランプが赤色に変わり、電源が切れる。
もう一度長押しすると電源が入り、電源ランプが緑色に変わる。



【緑色】
電源ON

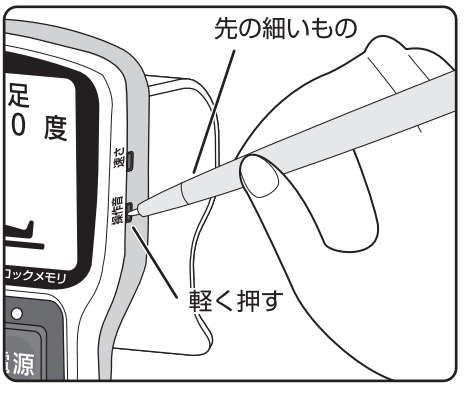
【赤色】
電源OFF

【緑色】
電源ON

● 側面ボタン

・手元スイッチの側面にあるメモリ・動作ロック（左側）
速さ・操作音（右側）の各ボタンで設定を変更する
ことができます。

※先が鋭利なものは使用しないでください。
※シャープペンシルは芯を出さずに使用してください。
芯を出したまま使用すると、芯が折れて部品にはさまり
手元スイッチが故障する原因となります。



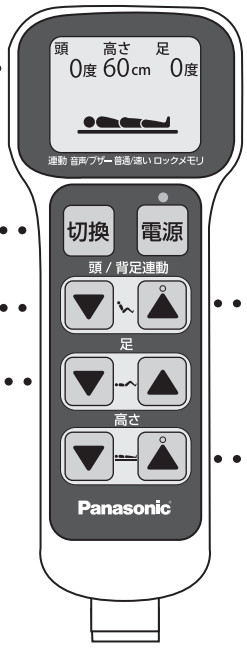
各ボタンの詳細設定は、次ページをご参照ください。

使いかた

初期設定

- ■ 電源：ON
- ■ 操作音：音声/ブザーモード
- ■ 連動動作：OFF
- ■ メモリ：設定無し
- ■ 速さ：普通
- ■ 動作ロック：設定無し

手元スイッチの各部のなまえ（3モーションタイプ）



液晶表示パネル

電源ランプ

点灯（緑）：正常な通電状態です。
点灯（赤）：電源 OFF の状態です。
点滅（緑）：背ボトムの角度が0°を超え、16° 以下 の状態で 1 時間経過したとき（電源 ON 時）

切換ボタン

頭/背足連動を切り換えます。

頭ボタン

背ボトムの角度を調節します。

足ボタン

ひざ･足ボトムの角度を調節します。

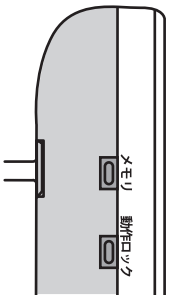
電源ボタン

電源をON/OFFします。

高さボタン

ベッドの高さを調節します。

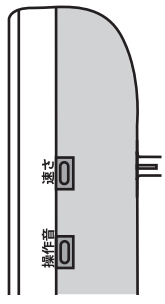
側面ボタン（左）



・メモリボタン
現在の位置を記憶し、記憶した位置にボトムがきたときにブザーを鳴らします。

・動作ロックボタン
頭･高さ･足がそれぞれ動作しないように設定します。

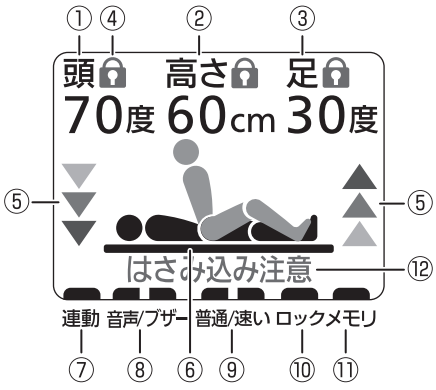
側面ボタン（右）



・速さボタン
ボトムの動作速度を普通/速いに切り換えます。

・操作音ボタン
操作音のON/OFFを設定します。

液晶表示パネル



【各部表示名称】

①～③動作部位角度/高さ
【頭・高さ・足】の角度と高さの数値が表示されます。

④動作部位ロック表示
ロックされている場合 、動作部位の横に表示されます。

⑤動作方向表示
ベッドの動作方向を表示します。

⑥動作部位表示
現在のベッドの角度をイラストで表示します。

⑦連動動作表示
連動動作の有無を表示します。

⑧操作音表示
音声の設定を表示します。

⑨動作速度表示
動作速度の設定を表示します。

⑩動作ロック表示
動作ロック設定の有無を表示します。

⑪メモリ設定表示
メモリ設定の有無を表示します。

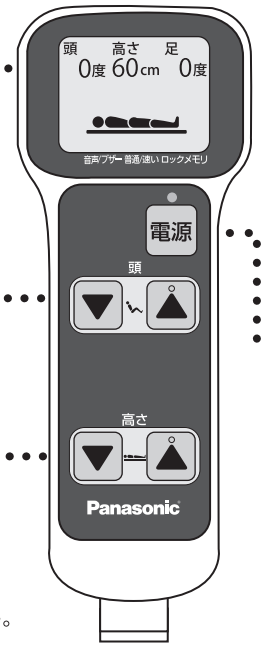
⑫はさみ込み注意表示
ベッドが昇降する際のはさみ込み注意表示します。

使いかた

手元スイッチの各部のなまえ（2モーションタイプ）

初期設定

- ■ 電源：ON
- ■ メモリ：設定無し
- ■ 速さ：普通
- ■ 動作ロック：設定無し
- ■ 操作音：音声/ブザーモード



液晶表示パネル

電源ランプ

点灯（緑）：正常な通電状態です。
点灯（赤）：電源 OFF の状態です。
点滅（緑）：背ボトムの角度が0°を超え、16°以下の状態で 1 時間経過したとき（電源 ON 時）

頭ボタン

背ボトムの角度を調節します。

電源ボタン

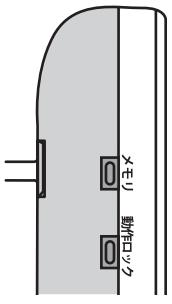
電源をON/OFFします。

高さボタン

ベッドの高さを調節します。

※足の角度は実際の角度に関わらず、常に「0度」と表示します。
※足上げを単独でおこなうことはできません。

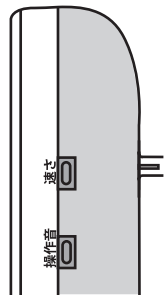
側面ボタン（左）



・メモリボタン
現在の位置を記憶し、記憶した位置にボトムがきたときにブザーを鳴らします。

・動作ロックボタン
頭・高さ・足がそれぞれ動作しないように設定します。

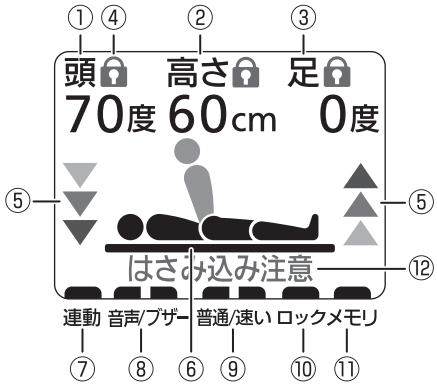
側面ボタン（右）



・速さボタン
ボトムの動作速度を普通/速いに切り換えます。

・操作音ボタン
操作音のON/OFFを設定します。

液晶表示パネル（2モーションタイプ）



【各部表示名称】

①～③動作部位角度/高さ
【頭・高さ・足】の角度と高さの数値が表示されます。

④動作部位ロック表示
ロックされている場合 、動作部位の横に表示されます。

⑤動作方向表示
ベッドの動作方向を表示します。

⑥動作部位表示
現在のベッドの角度をイラストで表示します。

⑦連動動作表示
連動動作の有無を表示します。

⑧操作音表示
音声の設定を表示します。

⑨動作速度表示
動作速度の設定を表示します。

⑩動作ロック表示
動作ロック設定の有無を表示します。

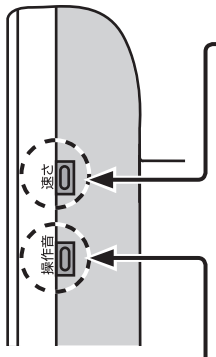
⑪メモリ設定表示
メモリ設定の有無を表示します。

⑫はさみ込み注意表示
ベッドが昇降する際のはさみ込み注意表示します。

使いかた

② 詳細設定

側面ボタン（右）

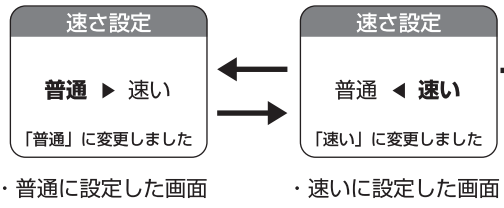


・速さボタン

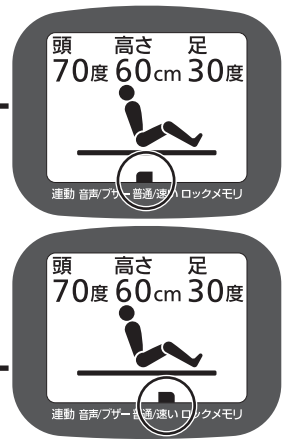
ベッドの動作速度を切り換えます。

【設定方法】

速さボタンを長押ししてください。



・普通に設定した画面　・速いに設定した画面



↑画面の各モードの設定に合わせて文字が黒く太字になります。

↑速度を設定後、画面下の表記部分に印が付きます。

・操作音ボタン

音声モードを切り換えることができます。

・音声/ブザーモード：「頭が上がります」など、ベッド動作を音声で案内します。

・ブザーモード：ブザーでのみ案内します。

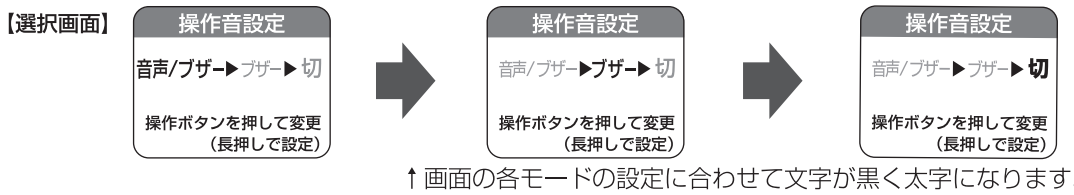
・切モード：音声がOFFの状態です。

【設定方法】

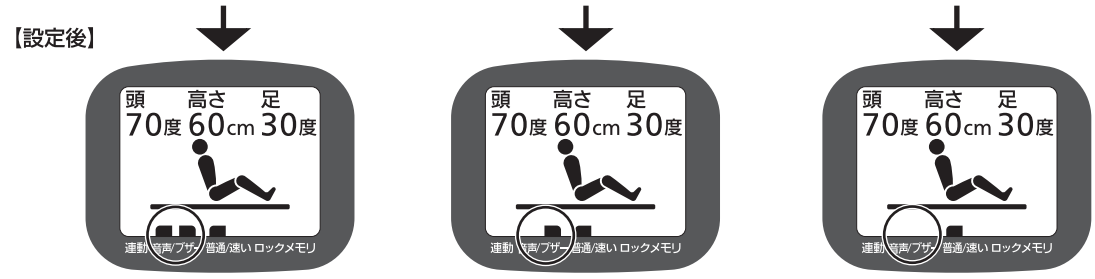
① 操作音ボタンを長押ししてください。

② 操作音ボタンを短押しして、選択したいモードを選んでください。

③ 設定したいモードで操作音ボタンを長押し、設定を完了してください。

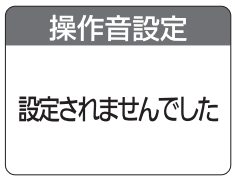


↑画面の各モードの設定に合わせて文字が黒く太字になります。



↑操作音を設定後、画面下の表記部分に印が付きます。

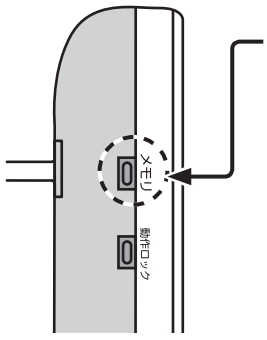
【設定を操作しなかった場合】



※「操作音」・「メモリ」・「動作ロック」の各ボタンは
【設定方法】①の後に 20 秒間操作がないと、
「設定されませんでした」という画面になり、
さらに 10 秒後、操作前の画面に戻ります。

使いかた

側面ボタン（左）



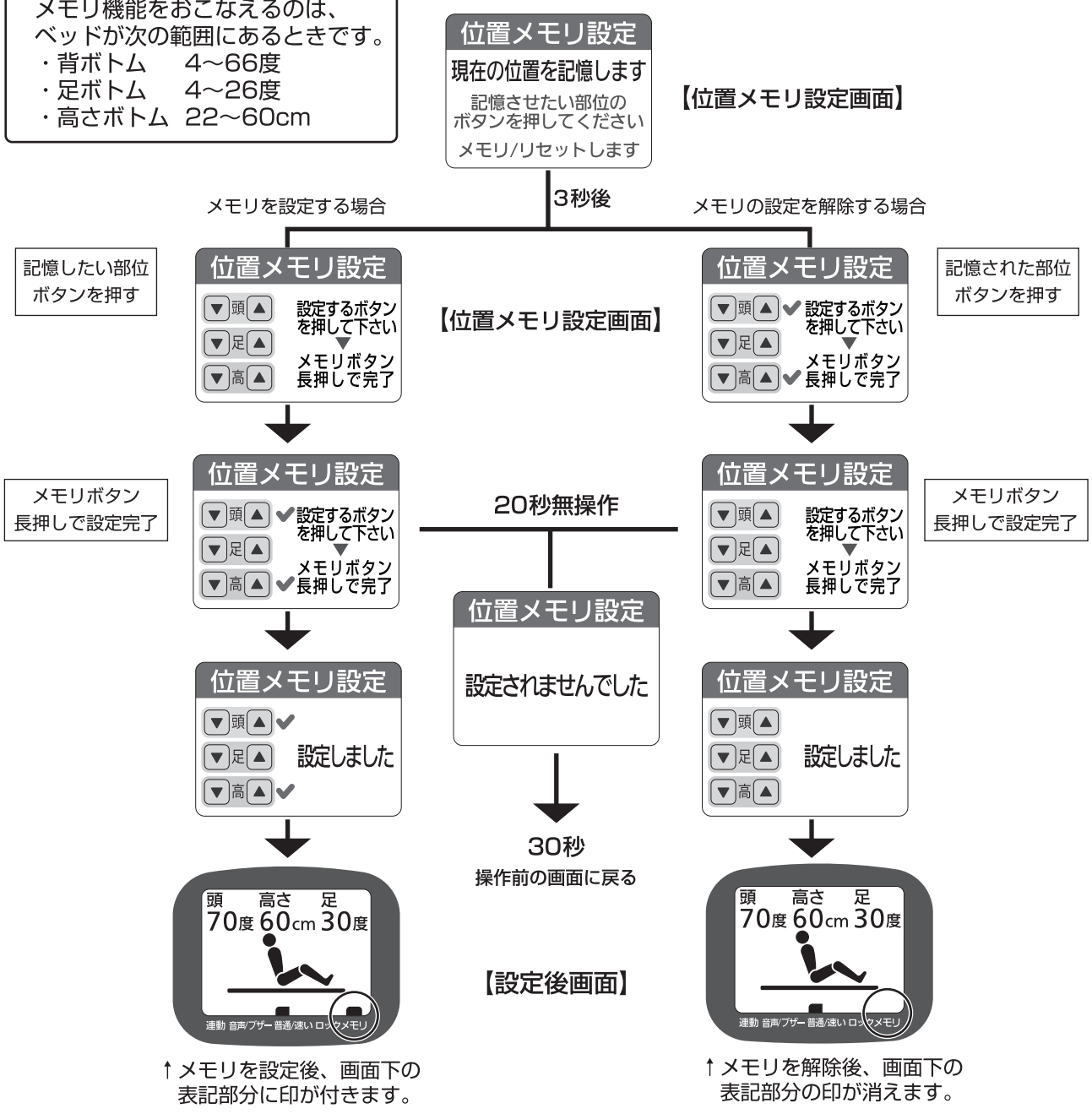
・メモリボタン

現在のボトムの位置を記憶します。
ベッドを動作させ、記憶した位置の4度(cm)前で「ピ！」と
ブザーでお知らせし、記録した位置で「ピピピ！」とお知らせします。
（ブザー設定OFF時は、本機能は使用できません。）

【設定方法】

① メモリボタンを長押ししてください。
② 設定したい部位の正面ボタンを押してください。
　押した正面ボタンに対してチェックマークがあらわれます。
③ メモリボタンを長押しして、設定を完了してください。

【設定条件】
メモリ機能をおこなえるのは、
ベッドが次の範囲にあるときです。
・背ボトム　4～66度
・足ボトム　4～26度
・高さボトム　22～60cm

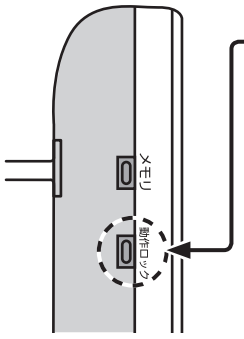


↑メモリを設定後、画面下の表記部分に印が付きます。

↑メモリを解除後、画面下の表記部分の印が消えます。

使いかた

側面ボタン（左）



・動作ロックボタン

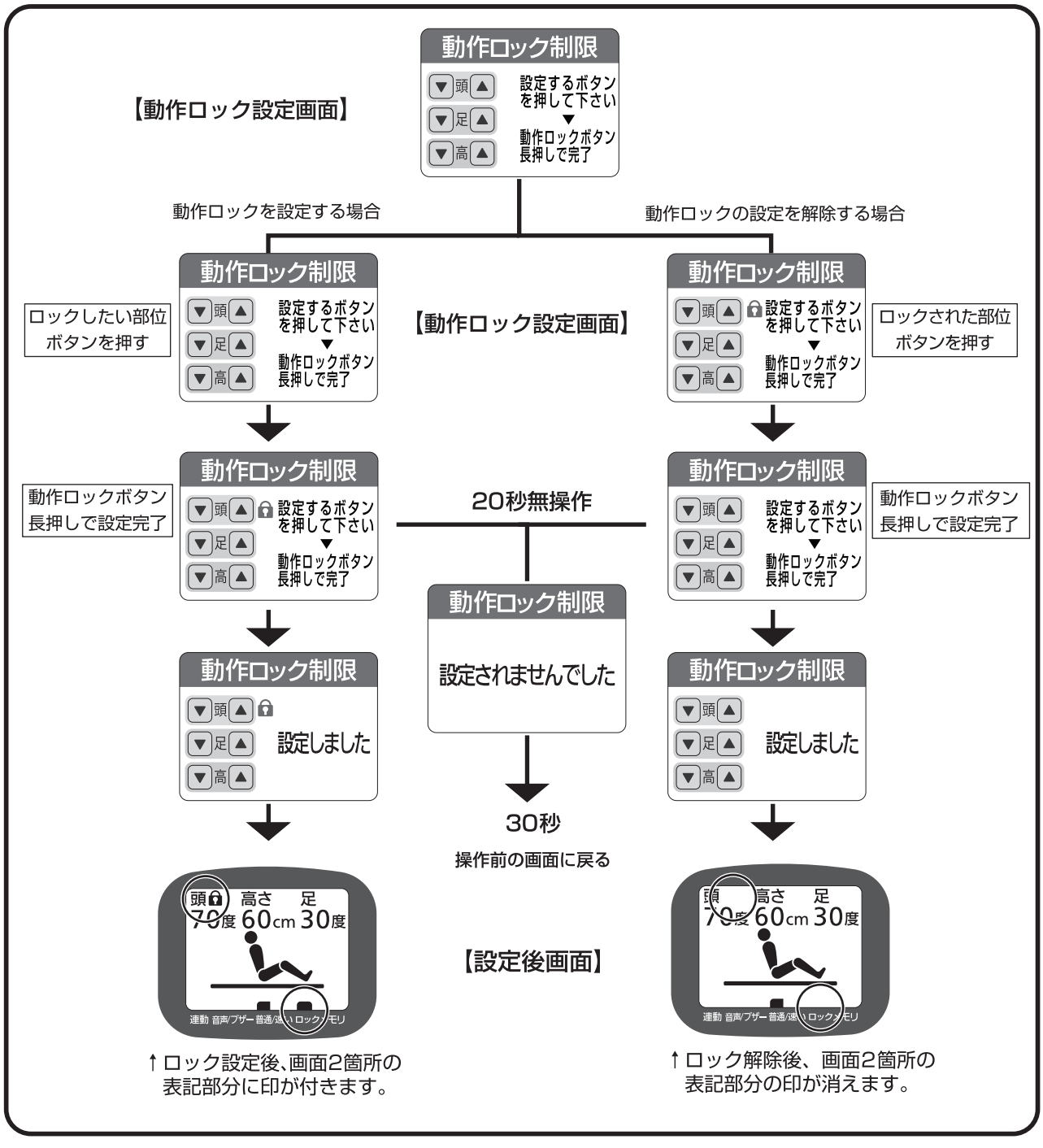
鍵マークをつけた部分のボトムを、ボタン操作しても動作させない。

【設定方法】

① 動作ロックボタンを長押ししてください。

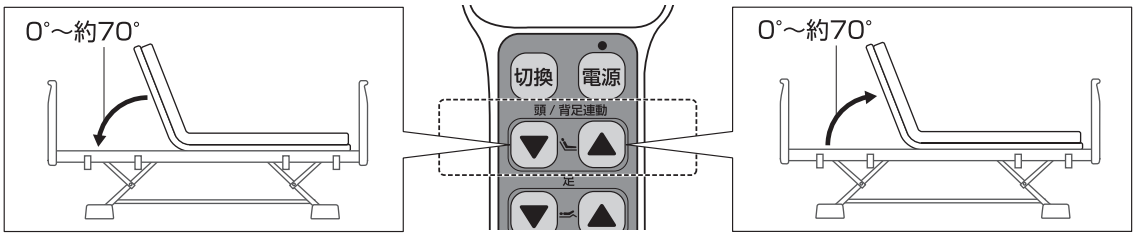
② 動作ロックしたい部位ボタン[頭/背足連動]・[足]・[高さ]を押してください。押した正面ボタンに対して鍵マークがあらわれます。

③ 動作ロックボタンを長押しして、設定を完了してください。



3 背ボトムを動かす

頭ボタン で背ボトムの角度を調節します。

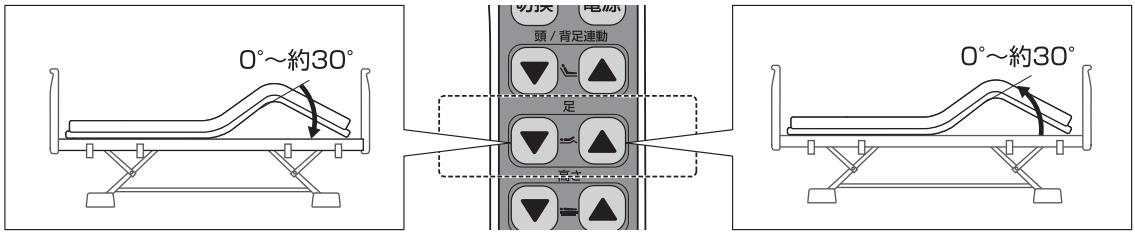


※ 0° ～約 70° まで調節可能です。
※ 角度は 2° ごとに表示されます。
※ 0° ～4° , 66° ～70° の間は「ー」と表示されます。

※ 背足連動の設定の場合は、背ボトムとひざ・足ボトムが同時に動作します。
※ 頭・足・高さのいずれかのボタンを2つ以上押すと、安全のためにベッドの動作が止まります。
再度操作する場合は、全てのボタンを離してからご使用ください。

4 ひざ・足ボトムを動かす（３モーションタイプ）

足ボタン でひざ・足ボトムの角度を調節します。

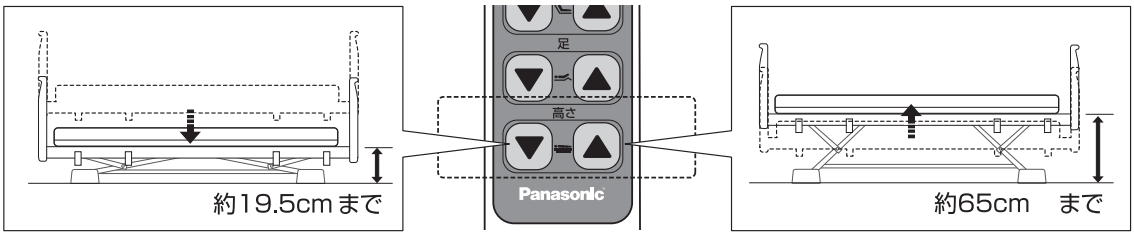


※ 0° ～約 30° まで調節可能です。
※ 角度は 2° ごとに表示されます。
※ 0° ～4° , 26° ～３０° の間は「ー」と表示されます。

使いかた

5 ベッドの高さを動かす

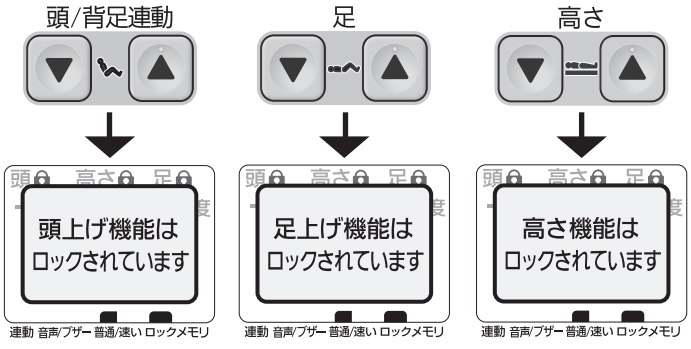
高さボタン でベッドの高さを調節します。



※約19.5cm ～約 65cm まで調節可能です。
※ 高さは 2cm ごとに表示されます。
※ 19.5～24cm , 62cm～ 65cmの間は「ー」と表示されます。

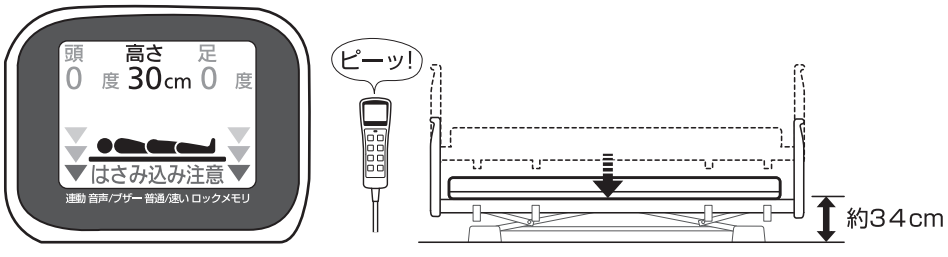
・動作ロックが設定されている場合

動作ロックがされた画面

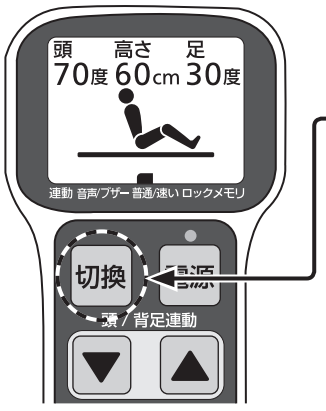


低床位置について

床からの高さが 34cm 以下になると設定に関係なくブザーが鳴ります。
・最低高さ（約 19.5cm）までブザーが鳴りつづけます。
・通常の速度より低速でさがります。
※ 安全のため操作音ボタンが「OFF」でも高さが 34cm ～ 19.5cm の間はブザーが鳴ります。



6 頭/背足連動設定の切換方法（3モーションタイプのみ）



・切換ボタン

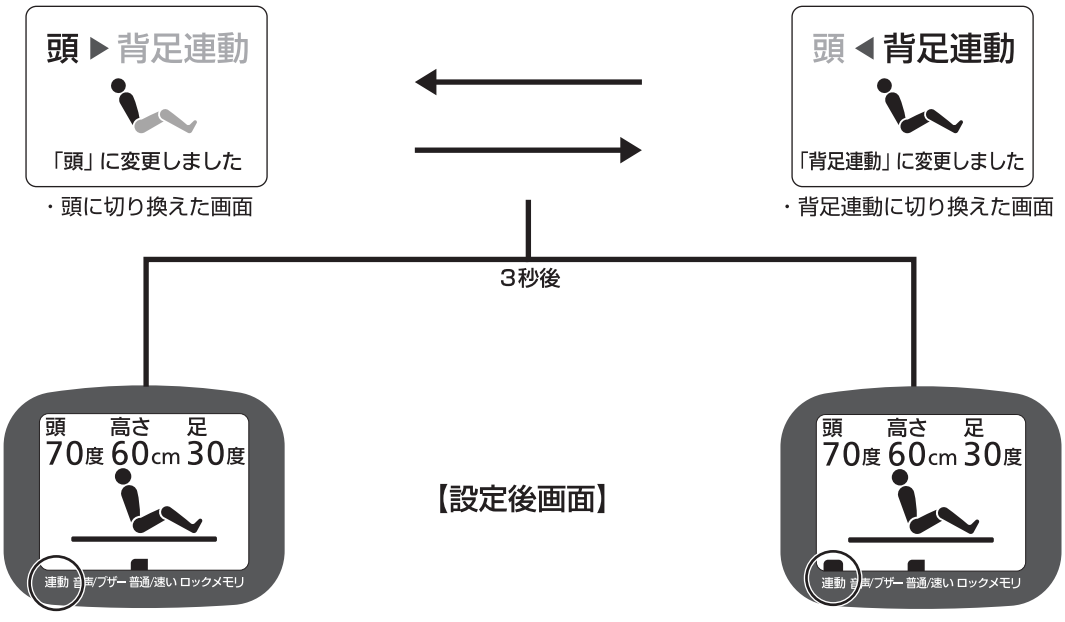
ベッドの連動動作のON/OFFを切り換えます。

【設定方法】

切換ボタンを長押ししてください。

頭：背ボトムのみ動作します。

背足連動：設定すると背ボトムと足ボトムが同時に動作します。

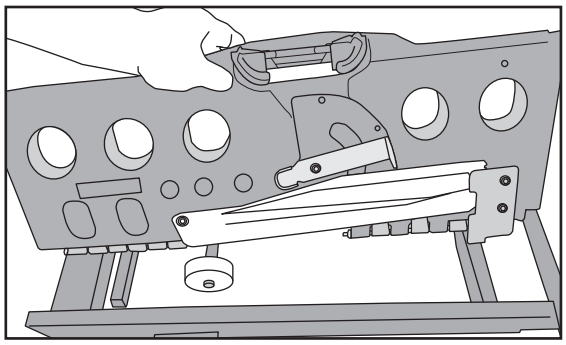


↑切換を設定後、画面下の表記部分に印が付きます。

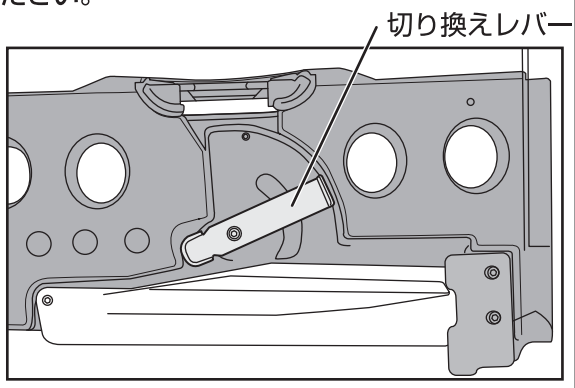
使いかた

7 サイドアップの切り換え方

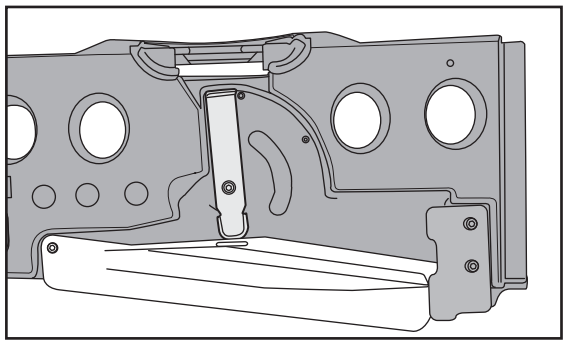
※ これ以上切り換えレバーが動かなくなるところまで、しっかりと切り換えレバーを回してください。
※ **推奨マットレス以外ではサイドアップを使用しないでください。**



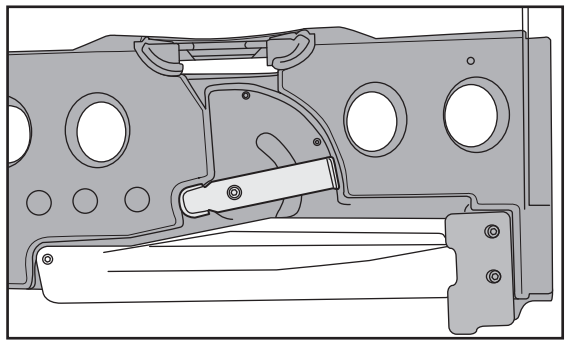
1.サイドアップボトムを持ち上げる。



2.切り換えレバーを下図の位置に設定する。



サイドアップ機能ON

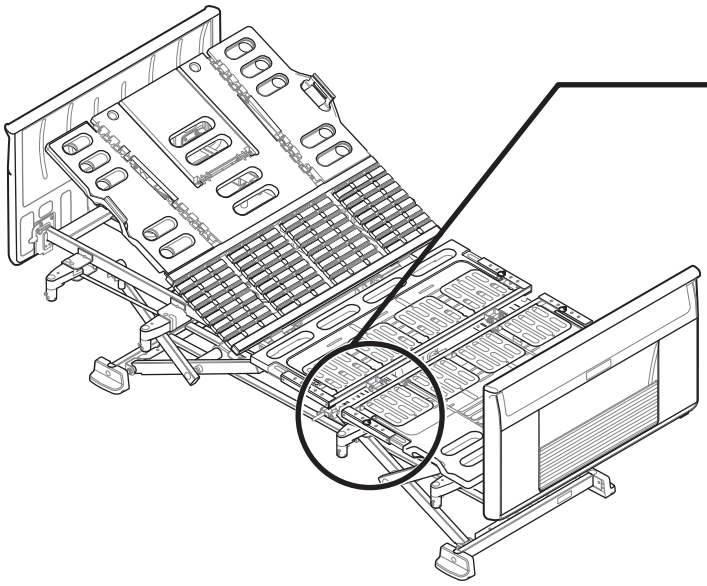


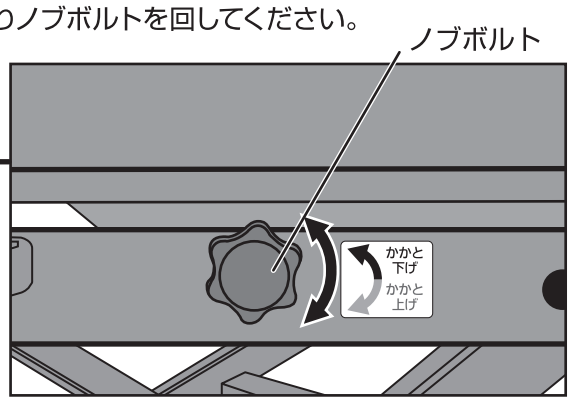
サイドアップ機能OFF

8 フットアップの切り換え方

1.ノブボルトを回す

※ 必ずひざ・足ボトムを水平にしてから切り換えてください。
※ これ以上ノブボルトが動かなくなるところまで、しっかりノブボルトを回してください。





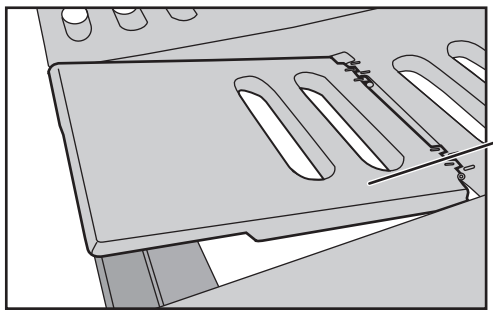
右回り：フットアップON

左回り：フットアップOFF

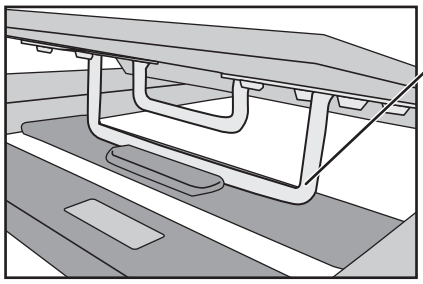
※図の方向から設定した場合

使いかた

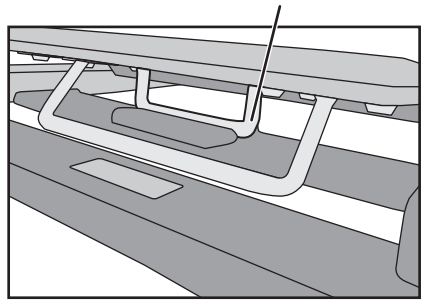
9 ヘッドアップの切り換え方



1.ヘッドアップ部を持ち上げる。



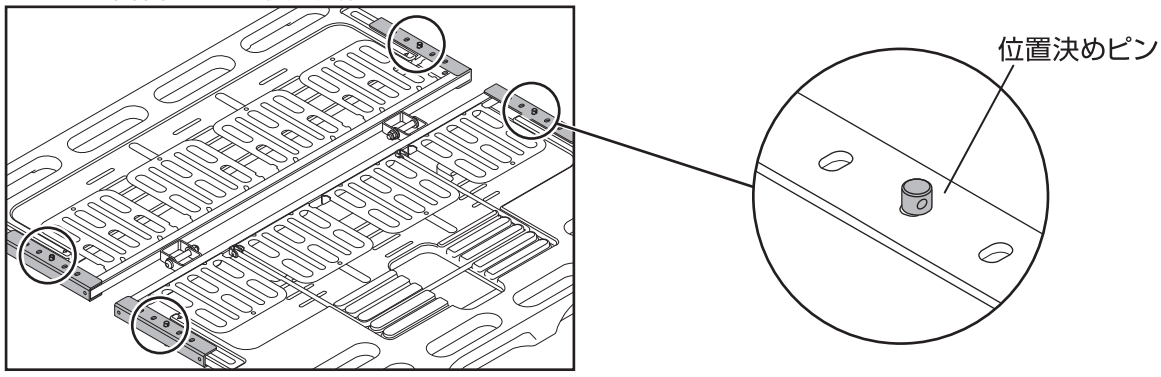
2-1.角度10度に設定する場合上図のように、
ヘッドアップバー（大）を溝にはめる。



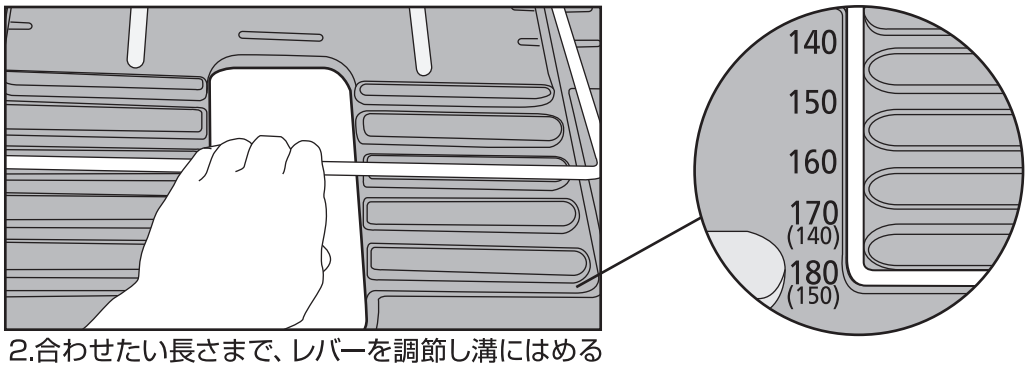
2-2.角度5 度に設定する場合上図のように、
ヘッドアップバー（小）を溝にはめる。

10 大腿長調節の方法

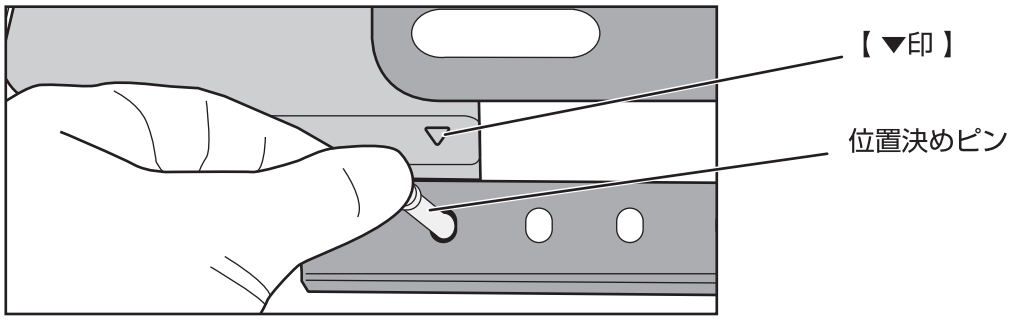
※ 必ずひざ・足ボトムを水平にしてから調節してください。
※ 必ず本体組み立て後に実施してください。



1.位置決めピンを抜く（4箇所）
（ボトムの裏面から位置決めピンを押し、位置決めピン
の頭を少し浮かせると抜きやすくなります。）



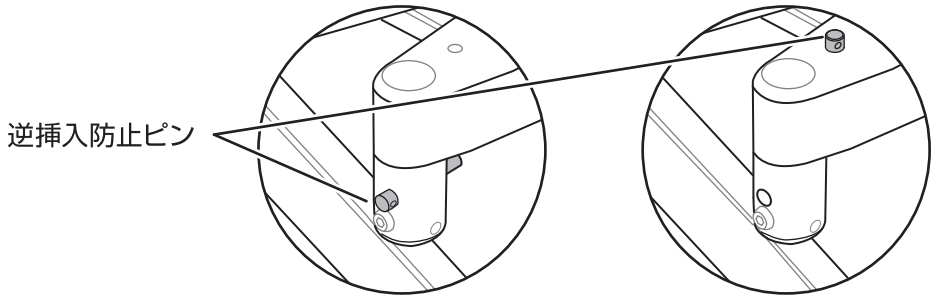
2.合わせたい長さまで、レバーを調節し溝にはめる
（約140cm～180cmの身長の方に合わせ、5段階で設定可能 ）
（ショートタイプは約140cmと約150cmの2段階で設定可能）



3.（1.）で抜いた位置決めピンを差し込む。
（ボトムの▼印の穴に位置決めピンを差し込んでください。）

11 逆挿入防止ピンの使い方

・逆挿入防止ピンの挿入位置で、サイドレールが逆向きに取り付かないように設定します。



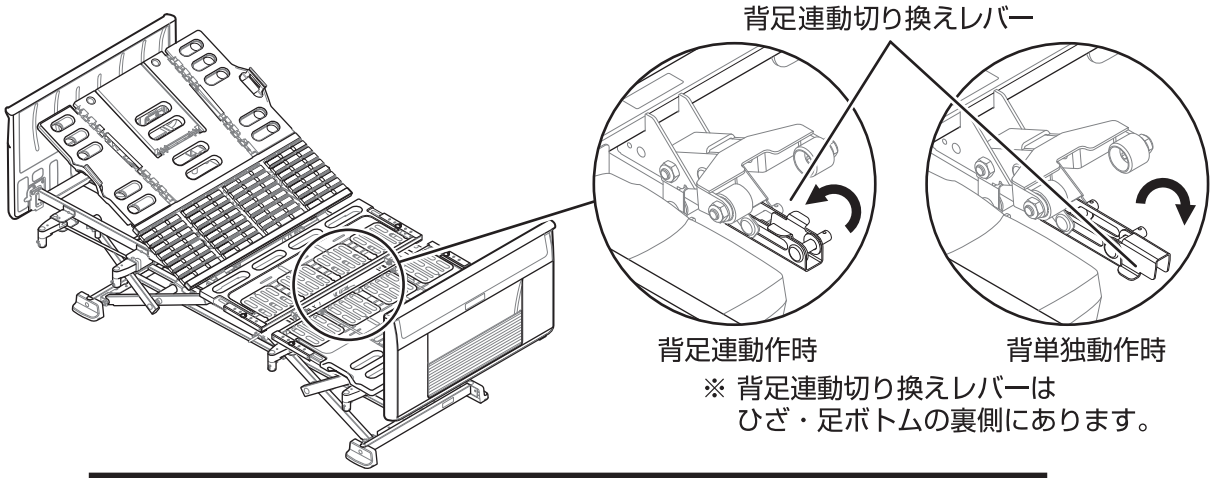
⚠ 警告

必ず守る

●逆挿入防止ピンは飲み込まないように注意する
・飲み込むと、事故やけがの原因となります。

12 背足連動手動切り換え（2モーションタイプのみ）

・背上げ動作と、背足連動動作を手動で切り換えます。
・連動時のひざ・足ボトム、背上げ動作にあわせて0～12°の範囲で動作します。



※ 背足連動切り換えレバーは
ひざ・足ボトムの裏側にあります。

⚠ 警告

必ず守る

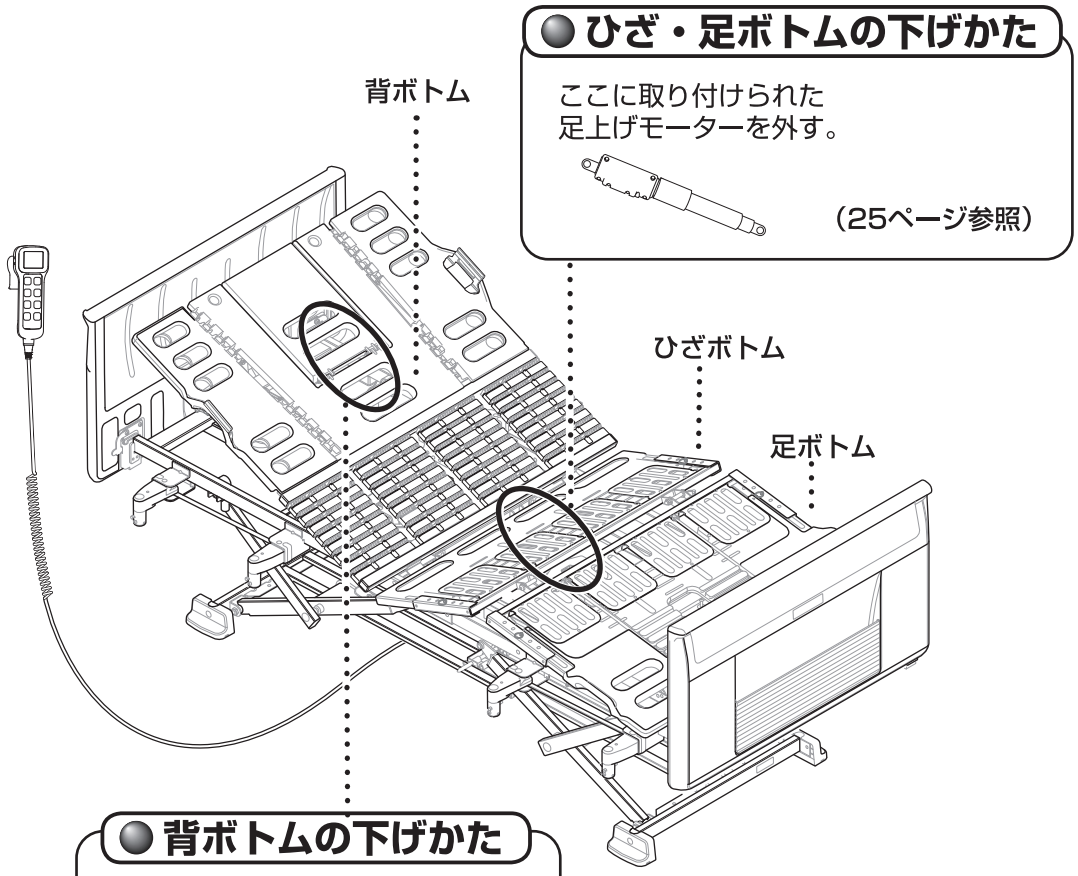
●背足連動切り換えレバーを操作する場合は、ひざ・足ボトムに手や腕や指などがはさまれないように注意する
・守らないと、事故やけがの原因となります。

手動でボトムを下げる

※停電などにより背ボトムやひざ・足ボトムを下げられなくなったときに、
手動で下げられます。

⚠警告	
必ず守る	●モーターを外した状態で、ベッドを昇降させない ●作業は必ず２人以上で行う ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

⚠注意	
必ず守る	●スピードピンを扱うときはラジオペンチやプライヤーを使う ●背上げモーターの連結ピンを取り外すときは、必ず背ボトムを支えてから取り外す ●足上げモーターの連結ピンを取り外すときは、必ずひざ・足ボトムを支えてから取り外す ・以上のことを守らないと、事故の原因になります。



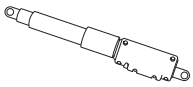
● ひざ・足ボトムの下げかた

ここに取り付けられた
足上げモーターを外す。

（25ページ参照）

● 背ボトムの下げかた

ここに取り付けられた
背上げモーターを外す。



（24ページ参照）

手動でボトムを下げる

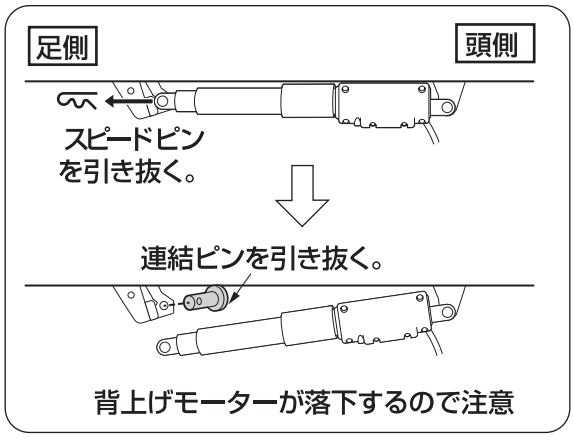
背ボトムの下げかた

1. 電源プラグをコンセントから抜く。

2. ベッドのご利用者と寝具を下ろす。

3. 一人が背ボトムを持ち、もう一人が背上げモーター頭側のスピードピンと連結ピンを取り外す。
   ※ 連結ピンを引き抜くと、背上げモーターの接続部が落下します。
   床に落とさないよう、手で支えながら連結ピンを引き抜いてください。

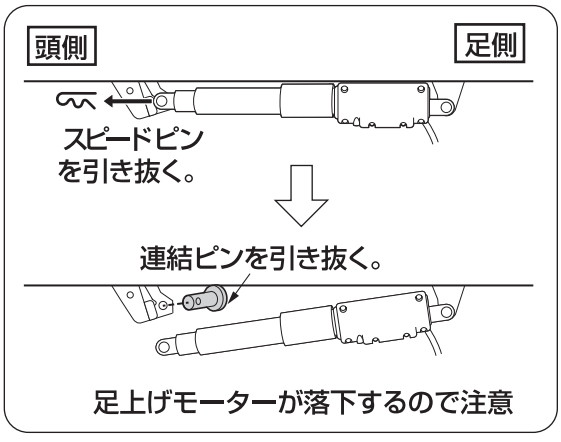
4. 背上げモーターを外してから、背ボトムをゆっくりと下ろす。
   ※ 背上げモーターを外した状態で背ボトムを支える手を離すと、背ボトムは落下します。
   落とさないよう、ゆっくりと下ろしてください。



手動でボトムを下げる

ひざ・足ボトムの下げかた

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. ベッドのご利用者と寝具を下ろす。
3. 一人が足ボトムを押さえ、もう一人が足上げモーターフット側の
   スピードピンと連結ピンを取外す。
   ※ 連結ピンを引き抜くと、足上げモーターの接続部が落下します。
   床に落とさないよう、手で支えながら連結ピンを引き抜いてください。
4. 足上げモーターを外してから、ひざ・足ボトムをゆっくりとフットボード側へスライドさせる。
   ※ 足上げモーターを外した状態でひざ・足ボトムを支える手を離すと、
   ひざ・足ボトムは勝手にスライドします。
   ベッドに衝撃を与えないよう、ゆっくりと下ろしてください。



戻しかた

※電源が回復してから元に戻してください。

1. 前ページ「背ボトムの下げかた」または上記「ひざ・足ボトムの下げかた」と逆の手順で背上げモーターまたは足上げモーターを取り付ける。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。
3. いったん最下降位置まで下降させてから、任意の高さに上げる。

	⚠警告
必ず守る	●モーターを外した状態で、ベッドを昇降させない ・守らないと、事故やけがの原因となります。 ●電源をリセットした（コンセントを抜いた）場合は、必ずベッドの高さを最下位点まで下降させる ・守らないと、ベッドが水平にならず、事故の原因となります。

介護リフト使用時のご注意

■必ず延長脚座（PN-S105037）を使用してください。
■リフトに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
※ 使用可能な介護リフトは脚の高さ7cm以下です。

⚠警告	
必ず守る	●ベッド操作時およびリフト操作時はリフトの周囲に注意する ・ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たってけがをするおそれがあります。 ・ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たって破損するおそれがあります。 ・ハンガーフックがサイドレールなどに引っ掛かり、リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。 ・ベッドとリフトの脚部やモーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。 ●リフトの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしない ・電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

オプション品

・本取扱説明書記載の商品以外のものを使用しないでください。
・詳しくは各オプション品の取扱説明書をお読みください。

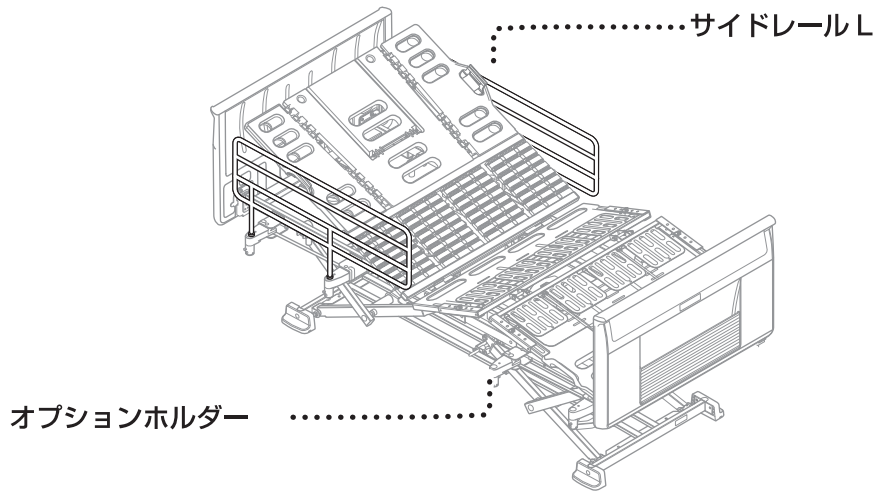
⚠警告	
必ず守る	●専用オプション品以外は使用しない ・守らないと、事故やけがの原因となります。 ●サイドレールは、正しい向きで取り付ける ・頭などをはさみ込み、事故やけがの原因となります。

オプション品

ＪＩＳ認証対象

サイドレール

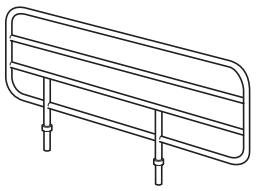
■ベッド両サイドのオプションホルダーを利用して、サイドレールが使用できます。
■オプションホルダーの逆挿入防止ピンは挿した状態でお使いください。（22ページ参照）
■サイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合はベッド用グリップをお使いください。
■適合オプション品以外のサイドレールと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



●サイドレールＬ

PN-S105031（2本入り）

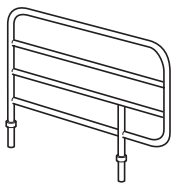
●就寝中の思わぬ落下や寝具のずり落ちを防ぎます。



●サイドレールＳ

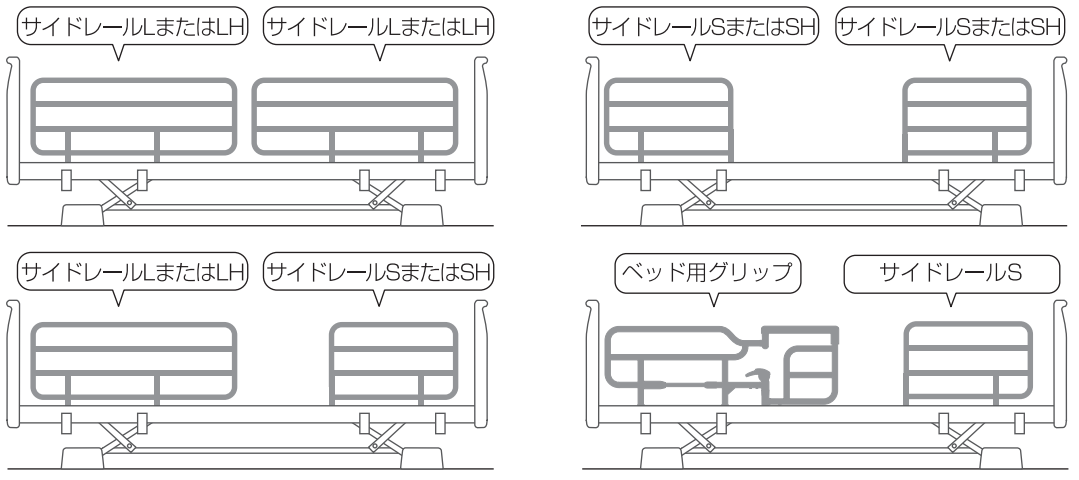
PN-S105032（2本入り）

●ベッド用グリップと合わせて使用すると、ベッドの乗り降りが楽になります。



※厚みのあるマットレス（厚み 13cm を超え 18cm まで）の場合は、
サイドレール L より 5cm 高い サイドレール LH（PN-S105033）または、
サイドレール S より 5cm 高い サイドレール SH（PN-S105034）をご使用ください。

●サイドレール・ベッド用グリップの組み合わせと取り付け方向



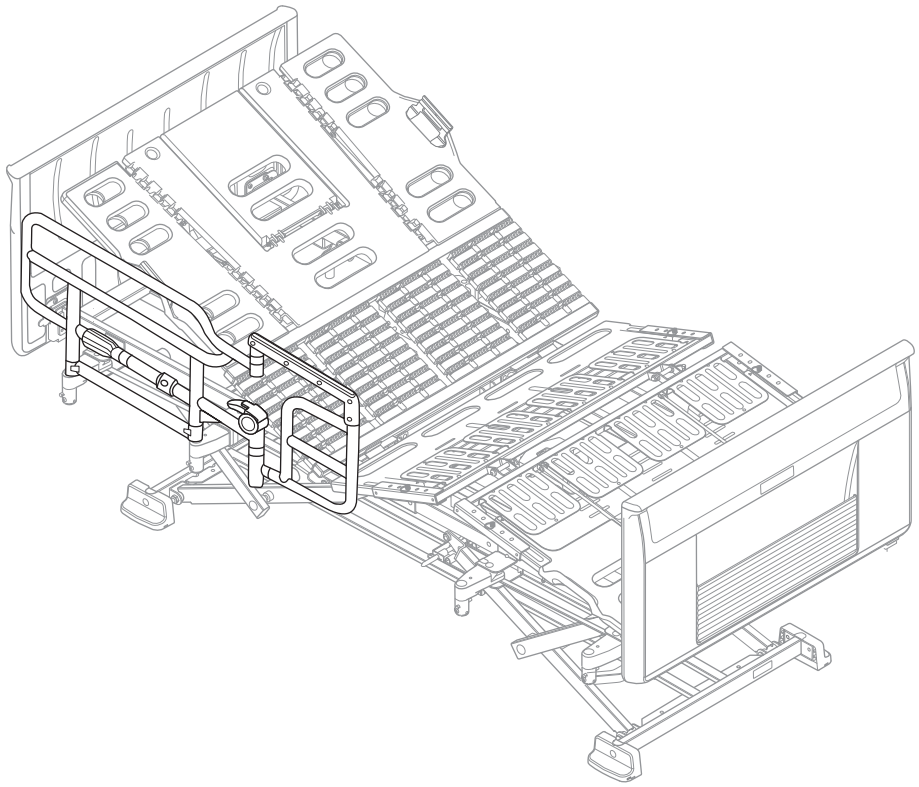
オプション品

ＪＩＳ認証対象

ベッド用グリップ

⚠ 警告	
必ず守る	●オプション品は正しい組み合せを確認する ・誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。 ・各オプション品の品番は本体の表示ラベルに記載されています。 ・製品識別表示ラベル上は、PN-S105035と表示されています。 ※製品によっては、上記表示とは異なる場合があります。 ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。 ●オプション品一覧（JIS 認証取得表）（30 ページ参照）に記載の適合品を使用する ・意図しないすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。 ●ベッド動作時、操作レバーに衣類・毛布・掛け布団などを引っかけない ●オプションホルダーの逆挿入防止ピンは抜いた状態で使用する（22ページ参照） ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

■ベッド両サイドのオプションホルダーを利用して、ベッド用グリップが使用できます。
■安全のため、使用者が転落するおそれがある場合などには、ベッド用グリップと併用して、サイドレールSまたはサイドレールSHをご使用ください。
■適合オプション品以外のベッド用グリップと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。
■必ず各オプション品の取扱説明書をお読みください。



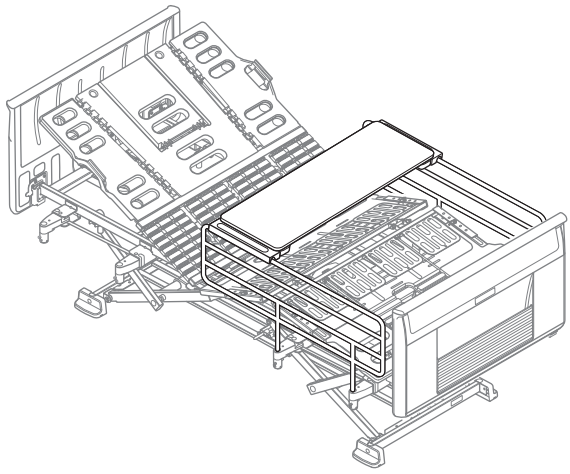
※仕様書などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

オプション品

オーバーテーブル

■サイドレールの上に乗せることにより使用できます。

⚠注意	
必ず守る	●オーバーテーブルの使用中はベッドを動作しない ・体にオーバーテーブルがあたり物が落下してけがをする原因となります。



※仕様書などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

サイドテーブル

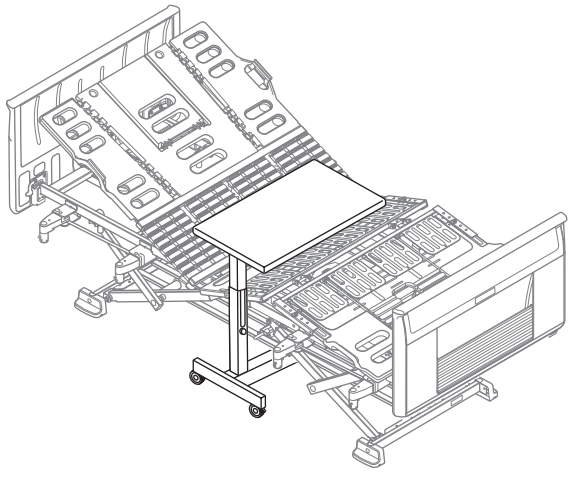
■サイドテーブルに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。

このベッドにサイドテーブルをお使いいただく場合は

※ 脚の高さ 4cm 以下のサイドテーブルを使用する。 もしくは

※ オプション部品「延長脚座」（別売）を用いてベッドの脚高さを 7cm まであげる。としてください。

⚠注意	
必ず守る	●サイドテーブルを使用中はベッドを動作しない ・サイドテーブルの脚部がベッドのモーター部などにあたり、破損・変形・けがなどをする原因となります。 ●サイドテーブルの脚とベッドのベースユニットが接触しないように注意する ・サイドテーブルが転倒してけがをしたり、ベッドやリフトが破損・変形するおそれがあります。

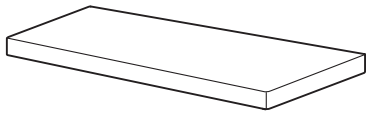


※仕様書などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

オプション品

マットレス（別売り）を使う

快眠マットレス ステラフィット



マットレスサイズ	品番	対応ベッド幅	対応ベッド全長
レギュラータイプ	PN-S120001	91cm幅	レギュラー
ショートタイプ	PN-S120002	91cm幅	ショート
ナロータイプ	PN-S120003	83cm幅	レギュラー
ナローショートタイプ	PN-S120004	83cm幅	ショート

※上記以外のマットレスをご使用される場合は、マットレスの厚み13cm以下のものはサイドレールL、Sをご使用ください。また、マットレスの厚み13cm以上18cm以下のものはサイドレールLH、SHをご使用ください。（マットレスの厚みがサイドレールと合っていない場合サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。）
サイドレールおよびベッド用グリップの選定は、27ページをご参照ください。

⚠警告

必ず守る

- **マットレスを設置しない状態ではベッドを使用しない**
  - ボトムのすき間や通気穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- **このベッドは、必ず当社が指定する適合品のマットレスを組み合せて使用する**
  - 当社が指定する適合品以外のマットレスと組み合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、サイドレール・ベッド用グリップにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担がかかり、故障したりする原因となります。

オプション品一覧（JIS 認証取得表）

	名　称	品　番
JIS 認証対象	サイドレール L	PN-S105031
	サイドレール S	PN-S105032
	サイドレール LH	PN-S105033
	サイドレール SH	PN-S105034
	ベッド用グリップ	PN-S105035
	キャスター	PN-S105036
	延長脚座	PN-S105037
	脚座ゴムシート	PN-S105038
	オーバーテーブル（レギュラー）	VA1316039
	サイドテーブル	PN-S105039

定期点検

「組み立て後の点検」（52ページ参照）の点検リストに沿って点検してください。
異常がある場合は、販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検表

コンフォーネ安全チェックシート　※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目		点検結果（該当には○） 日付					処理手順
愛情点検	電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする						○印があるときは、危険な状態になっていますので、使用を中止しお買い上げの販売店にご相談ください。
	電源プラグや電源コードが異常に熱い						
	こげ臭い匂いがする						
	触ると電気(ピリピリ)を感じる						
	購入後8年以上経過している						○印があるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	レンタル後1年以上経過している						
	フレームに変形が見られる						
	高さ・角度調整範囲が狭くなった						
	キャスターが固定状態にならない						
	動作時に異常な音がする						※場所や状態によってはお客様で注油を行うことが出来ます。

上記の点検項目以外でも不具合があれば、販売店などの専門家にご相談ください。
（品番により該当しない項目があります。）

●製品の長期使用について

1.本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、
製造年月日を本体に表示しております。

2.想定安全使用期間とは

一般家庭用にてご使用いただく介護用ベッドにおいて、標準的な条件の下で、
適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理（消耗部品の交換）が行われた場合に、
安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。
無償保証期間とは異なります。また、偶発的な事故を保証するものではありません。

※一般家庭以外（病院、施設など、不特定多数の方が使用される場所）に設置された
場合は、使用条件により、想定安全期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

3.経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

【想定安全使用期間】　8年（一般家庭にて使用いただく場合）
想定安全使用期間を超えてお使いただいた場合は、
経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

お手入れのしかた

⚠注意	
必ず守る	●電源２Ｐプラグをコンセントから抜いてお手入れを行う ・電源プラグを抜かないと、感電の原因となります。 ●消毒剤を使用する場合は、必ず指定の濃度に薄めて使用する ・守らないと、破損の原因となります。

【お手入れ上のご注意】

●ベッドに直接水を掛けないでください。
●シンナーやベンジンなどの揮発性の溶剤、みがき粉は使用しないでください。
●たわし、硬いブラシは使用しないでください。
●オゾン消毒はしないでください。
（変質・変色・傷みの原因となります。）

※ つねに清潔に保つように清掃してください。

① 中性洗剤を指定の濃度に薄め、スポンジか柔らかい布に含ませ、汚れをきれいにふき取る。その後水に浸した布をよく絞って、残った洗剤分をふき取る。狭い部分には、歯ブラシや綿棒を使用する。

② 乾いた布でからぶきし、自然乾燥する。

コンセント

●コンセントにたまったほこりは、コンセントを一旦はずして定期的に取り除いてください。

故障かな？と思ったとき

※修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。

症　　状		チェック内容	処　理
手元スイッチを押しても動かない	電源ランプが点灯していない	電源プラグがコンセントから外れている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
		コンセントに電気がきていない（電源プラグを外し、他の電気器具をコンセントに差し込んで電気がきているか確認する）	電源プラグを他のコンセントに差し込む
	電源ランプが赤く点灯している	手元スイッチの電源がOFFの状態になっている	手元スイッチの電源ボタンを長押しして、電源をONにする
ベッドが水平になっていない		ベッド下に物がはさまっていない	電源・頭↑・頭↓を同時押しし、0°,19.5cmまで下げる、動作ロックしている部分を動かしたくない場合は頭↓・高さ↑・高さ↓を同時押しする
		ベッドの下に物がはさまったり、つかえたりしている	はさまっている(つかえている)物を取り除く
手元スイッチの角度/高さと、実際の角度/高さが合っていない		ボタンを押すと動く	電源・頭↑・頭↓を同時押しし、0°,19.5cmまで下げる、動作ロックしている部分を動かしたくない場合は頭↓・高さ↑・高さ↓を同時押しする
十分な高さ、角度まで動作しない		ベッドの可動部に物がはさまったり、つかえたりしている	はさまっている(つかえている)物を取り除く
特定のボトムだけが動作しない		動作ロック機能がONになっている	動作ロック機能を解除する
ベッドを動作させていないときに電源ランプが点滅している		背ボトムの高さが0°を超え16°以下の状態で1時間以上経過している	背ボトムを0°まで下げる

長期保管について

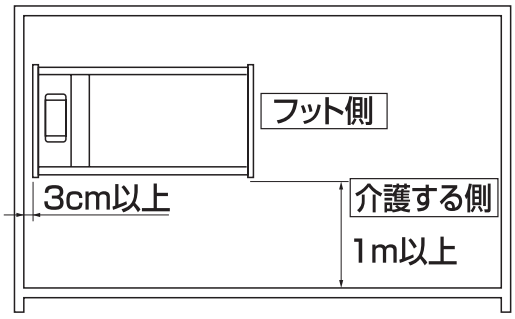
長期にわたりベッドをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。

1. 背ボトム、ひざ・足ボトムを水平にしてください。
2. ベッドの高さを最下降位置までおろしてください。
3. ベッドの上にはマットレス以外のものを乗せないでください。
4. マットレスの上には何も乗せないでください。
5. 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
6. ベッドは壁に立てかけたりせず、水平な床に水平のまま保管してください。
7. 必ず電源プラグをコンセントから抜いて電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねてください。

ベッドの移動・設置

設置条件

※ベッドを設置する前に以下の項目を確認してください。



- ベッドへの乗り降り･介護するためのスペースがある。（左図参照）
- 冷暖房機からの冷風・温風に直背接当たらない。
- ベッドの角度・高さを調節するスペースがある。
- 床が水平である。
- 床に十分な強度がある。
  （ベッド本体＋体重＋寝具＋オプション品の質量に耐えられる）
- 電源プラグを抜き差ししやすい。
- 電源コード付近にテレビを設置しない。
  （まれに、テレビの画像に影響を及ぼす場合があります。）

⚠警告

必ず守る

●ベッドの電源は直接コンセントからとる

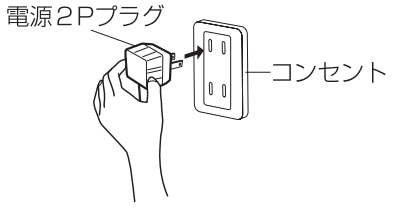
・コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

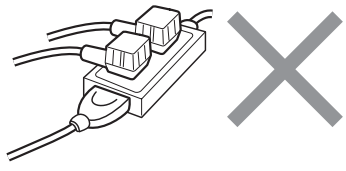
●電源 2P プラグは直接コンセントに差し込む

・延長コード・テーブルタップなどを使用すると、火災の原因となります。

●タコ足配線は行わない

・電源コンセントはベッド１台ごとに適正配線された単相交流100 V・15 A以上のコンセント（2P）をご使用になり、電源2Pプラグをコンセントに確実に差し込んでください。





⚠注意

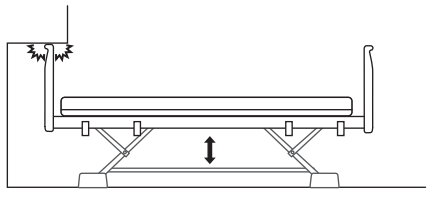
必ず守る

●ベッドを移動するとき以外はキャスターのロックをかける（キャスター使用時）

・守らないと、事故やけがの原因となります。

●ベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などと当たらないよう注意する

・特に高さ方向については、ベッドの高さ調節によってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。
ベッドや家具備品・構造物などが破損するおそれがあります。



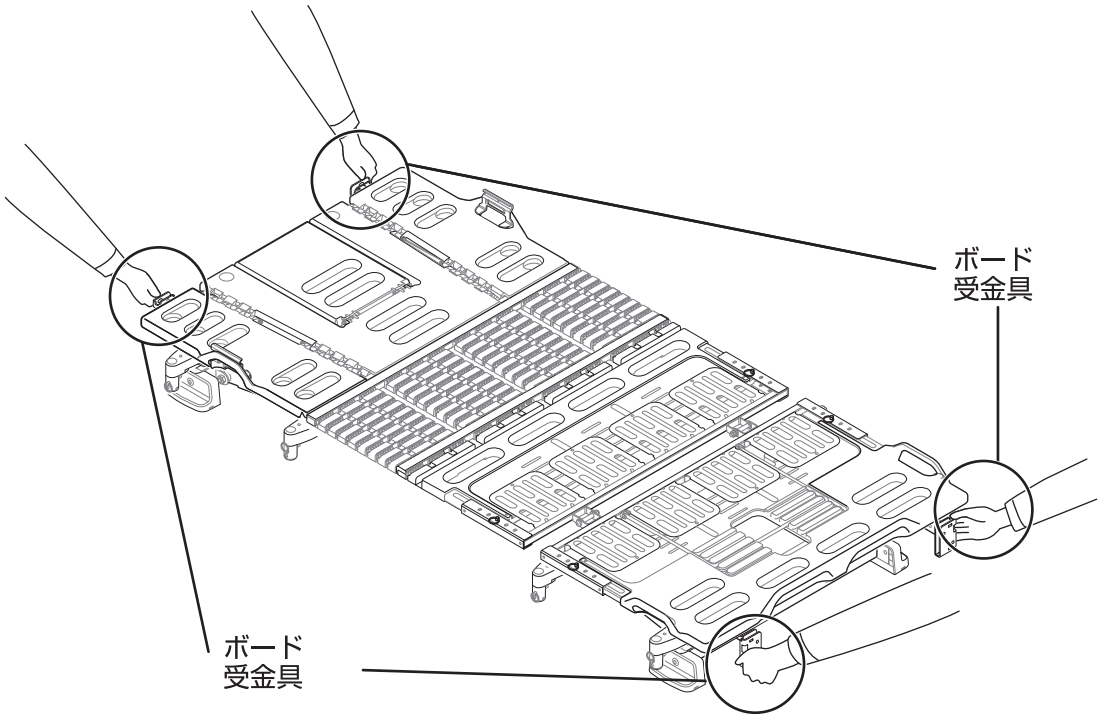
ベッドの移動・設置

移動する際は...

※ベッドを移動するときに以下の項目を確認してください。

⚠警告	
必ず守る	●作業は必ず２人以上で行う ● 段差やスロープのある路面での移動はしない ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

●マットレス・オプション品・ボードなど何も乗せない。
●電源プラグをコンセントから抜く。
●電源コード・手元スイッチを束ねて、傷付けないようにする。
●キャスターのロックを解除する。(キャスター使用時)
●ベッドのボード受金具を持つ。（下図参照）
（ヘッドボード・フットボード・ボトムを持たない。）



※ベッドを分解する必要がある場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

仕様

背上げ

背上げモーター（生活防水仕様　IP54）	
傾　斜　角　度	0～73°　[-2°～+3°]
昇　降　時　間	約 30 秒 (普通) ／ 約 25 秒 (速い) (*2)
連 続 使 用 時 間	約 2 分 (休止時間、約 18 分) (*1)
モ ー タ ー 形 式	DC24V

ひざ上げ

足上げモーター（生活防水仕様　IP54）	
傾　斜　角　度	0～30°　[±3°]
昇　降　時　間	約 14 秒 (普通) ／ 約 12 秒 (速い) (*2)
連 続 使 用 時 間	約 2 分 (休止時間、約 18 分) (*1)
モ ー タ ー 形 式	DC24V

高さ調節

昇降モーター（生活防水仕様　IP54）	
昇　降　距　離	19.5 ～ 65cm（床からボトム上面までの高さ）
昇　降　時　間	高さ上げ 約 45 秒 (普通) ／ 約 40 秒 (速い) (*2) 高さ下げ 約 65 秒 (普通) ／ 約 60 秒 (速い) (*2)
連 続 使 用 時 間	約 2 分 (休止時間、約 18 分) (*1)
モ ー タ ー 形 式	DC24V

(*1) ベッドを最大連続使用時間 (約 2 分) 動作させた場合、電装品を加熱から保護するための時間です

(*2) 無負荷時

仕様

●ベッド本体

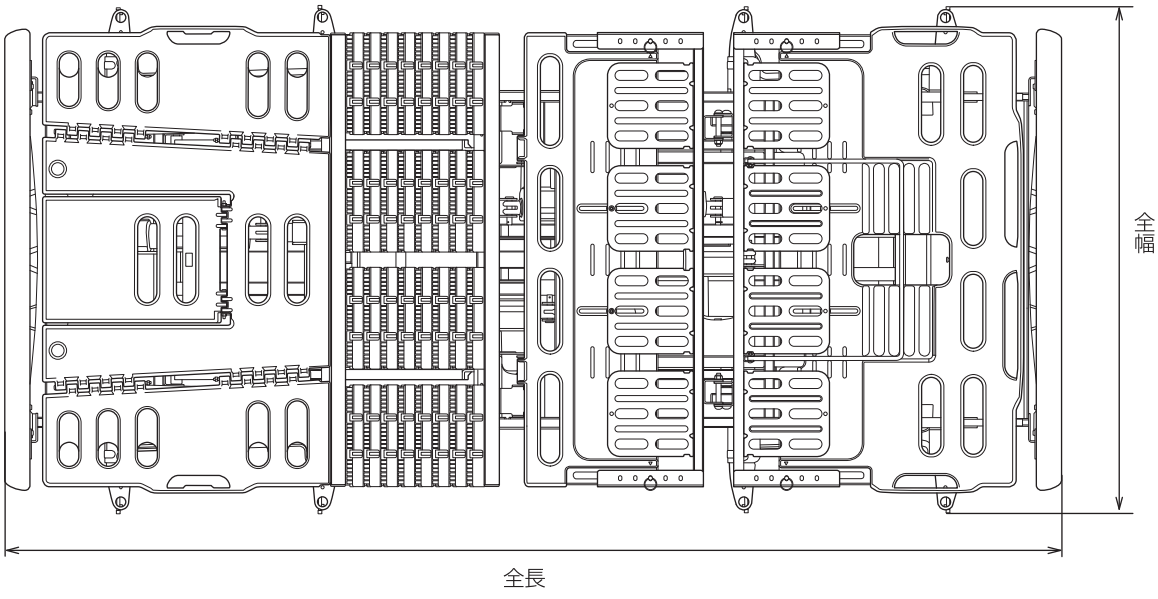
製品名	2モーション（レギュラーサイズ（ショートサイズ兼用））			
	91幅		83幅	
電源	AC100V　50/60Hz			
消費電力	360W			
ボード	樹脂タイプ	木調タイプ	樹脂タイプ	木調タイプ
セット品番	XPN-S105200B	XPN-S105200M	XPN-S105210B	XPN-S105210M
全長	レギュラー：208.5cm　ショート：199.5cm			
全幅	99.8cm		91.8cm	
ボトムの高さ	19.5～65cm			
ヘッドボードの高さ	39cm	38.5cm	39cm	38.5cm
フットボードの高さ	39cm	28.5cm	39cm	28.5cm
脚座間長さ	134cm			
背部の角度	0～73°[-2°～+3°]			
ひざ部の角度	0～12°[±3°]			
質量（重量）	約98kg	約107.5kg	約91kg	約99.5kg
動作保障条件	周囲温度：10～40℃/ 湿度：30～75%RH			
最大使用者体重	120kg			
安全使用荷重	1,700N(*1)			

製品名	3モーション（レギュラーサイズ（ショートサイズ兼用））			
	91幅		83幅	
電源	AC100V　50/60Hz			
消費電力	360W			
ボード	樹脂タイプ	木調タイプ	樹脂タイプ	木調タイプ
セット品番	XPN-S105300B	XPN-S105300M	XPN-S105310B	XPN-S105310M
全長	レギュラー：208.5cm　ショート：199.5cm			
全幅	99.8cm		91.8cm	
ボトムの高さ	19.5～65cm			
ヘッドボードの高さ	39cm	38.5cm	39cm	38.5cm
フットボードの高さ	39cm	28.5cm	39cm	28.5cm
脚座間長さ	134cm			
背部の角度	0～73°[-2°～+3°]			
ひざ部の角度	0～30°[±3°]			
質量（重量）	約99kg	約108.5kg	約92kg	約100.5kg
動作保障条件	周囲温度：10～40℃/ 湿度：30～75%RH			
最大使用者体重	120kg			
安全使用荷重	1,700N(*1)			

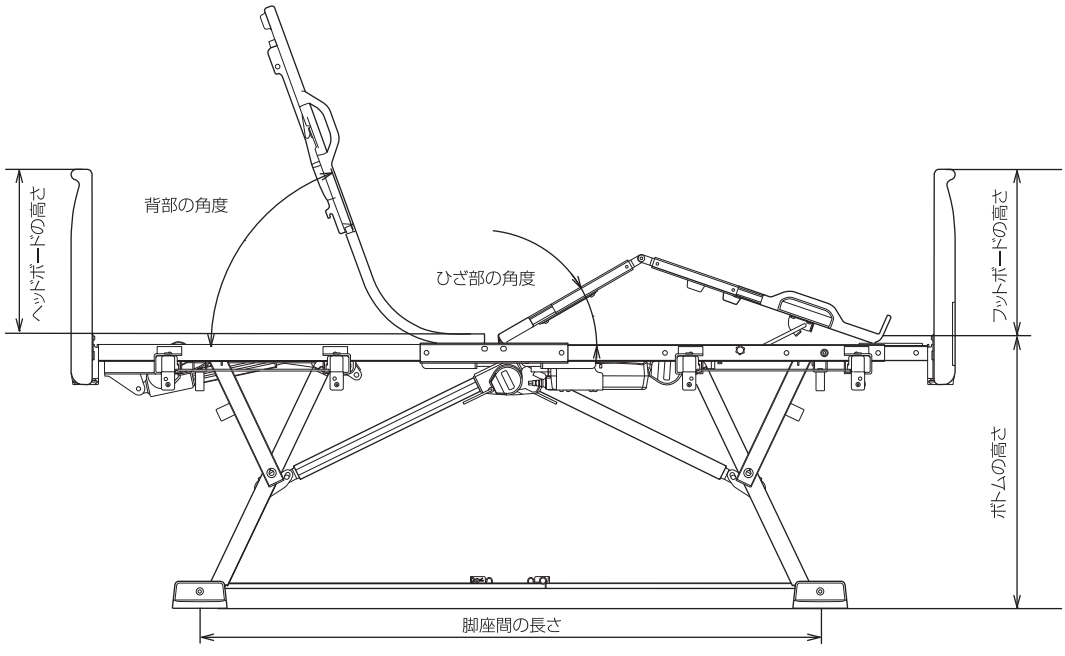
(*1) ベッドの動作が行える最大荷重（使用者体重とマットレスやオプション品などの付帯物の合計荷重）

仕様

上面図



横面図



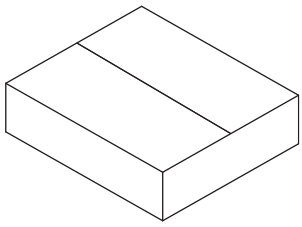
部品・部材の確認

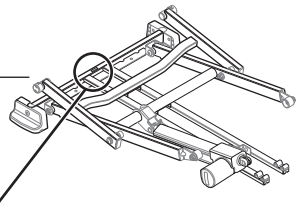
ベッドを組み立てる前に以下の部品・部材が揃っているか確認してください。

※部品・部材の不足や破損がある場合は、販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

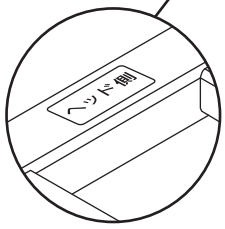
※ベッドの組立・分解は、販売店へ依頼することをおすすめします。
万一、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

① 頭側ベースユニット





頭側ベースユニット

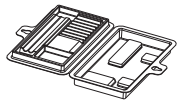


※ 足側（フット側）と間違えないようにご注意ください。

付属部品

取扱説明書×１　保証書×１

組立付属部品



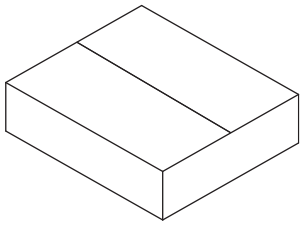
パーツケース×１

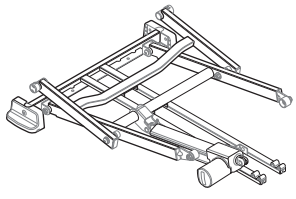
スピードピン(長)×2

スピードピン×6

スピードピン(短)×4

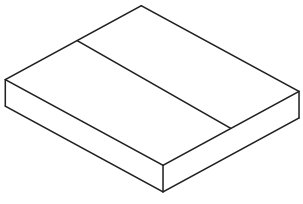
② 足側ベースユニット



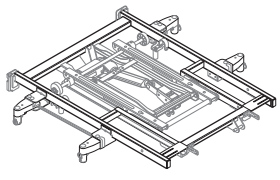


足側ベースユニット

③ フロントユニット

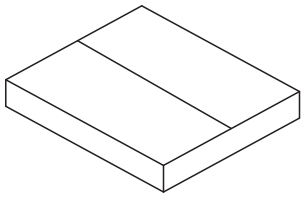


フロントユニット91cm幅
もしくは
フロントユニット83cm幅

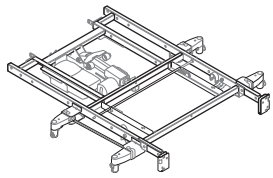


フロントユニット

④ リアユニット(3モーションタイプ)



リアユニット91cm幅 3モーションタイプ
もしくは
リアユニット83cm幅 3モーションタイプ



リアユニット(電源コード付)

コントローラー
ボックスカバー

手元スイッチ
(3モーションタイプ)

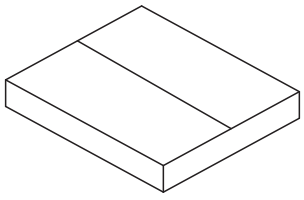
部品・部材の確認

ベッドを組み立てる前に以下の部品・部材が揃っているか確認してください。

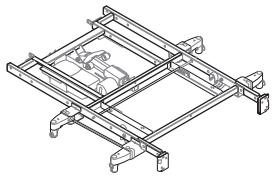
※部品・部材の不足や破損がある場合は、販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

※ベッドの組立・分解は、販売店へ依頼することをおすすめします。
万一、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

⑤ リアユニット(2モーションタイプ)

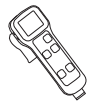


リアユニット91cm幅 2モーションタイプ
もしくは
リアユニット83cm幅 2モーションタイプ

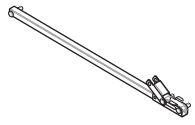


リアユニット(電源コード付)

コントローラー
ボックスカバー

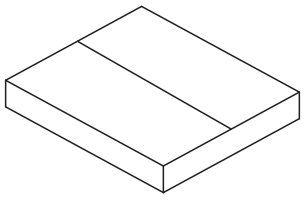


手元スイッチ
(2モーションタイプ)

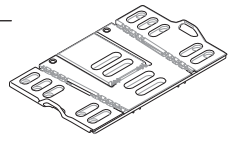


足連動ユニット

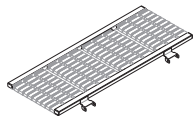
⑥ ボトムユニット



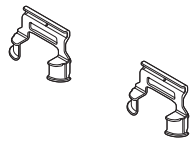
ボトムユニット91cm幅
もしくは
ボトムユニット83cm幅



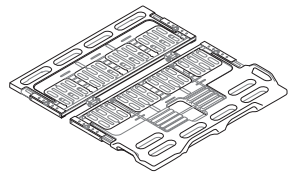
背ボトム
(91cm幅・83cm幅)



ぴったりライン
(91cm幅・83cm幅)

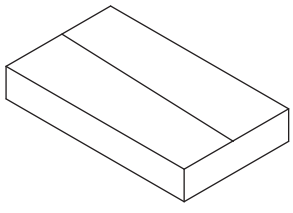


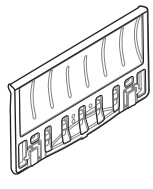
マットレスストッパー×2



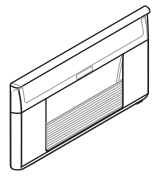
ひざ・足ボトム
(91cm幅・83cm幅)

⑦ ボードユニット





ヘッドボード
(91cm幅・83cm幅)

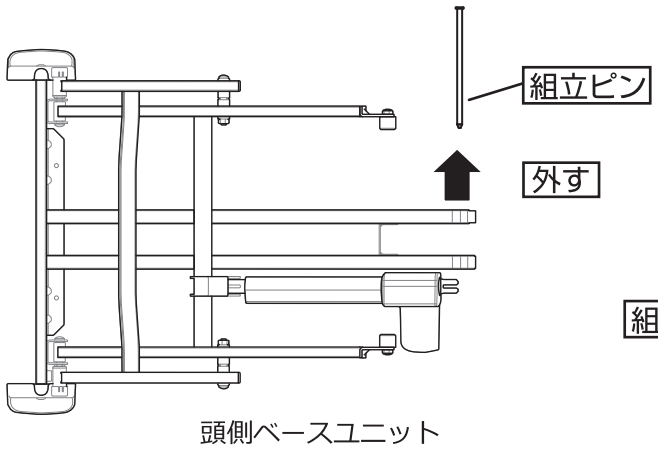


フットボード
(91cm幅・83cm幅)

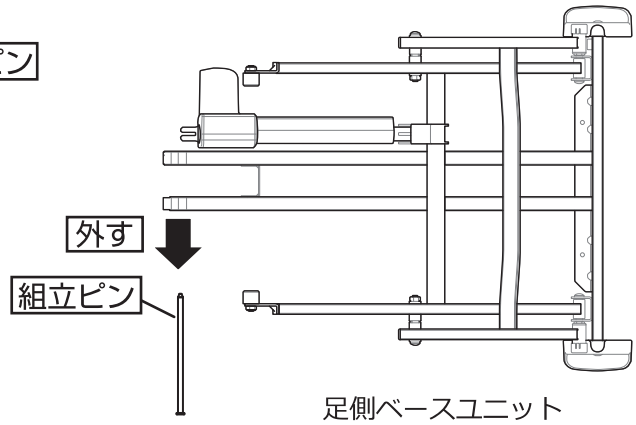
ベッドの組み立てかた

※分解方法は組み立て方法の逆手順です。
※モーターを外す際はモーターとベースユニットが落下しないように、
手で支えながら取り外しをおこなってください。

① 頭側ベースユニット、足側ベースユニットから 組立ピンを外す。

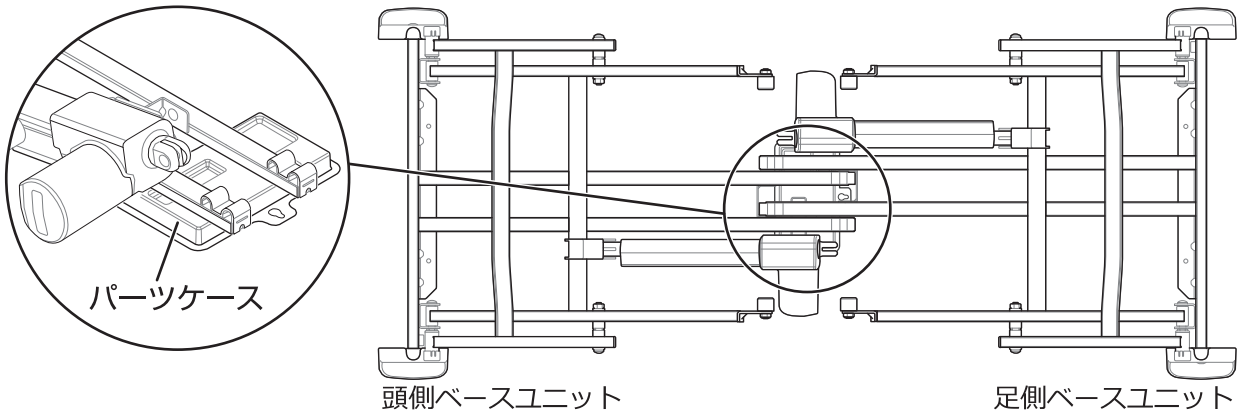


頭側ベースユニット



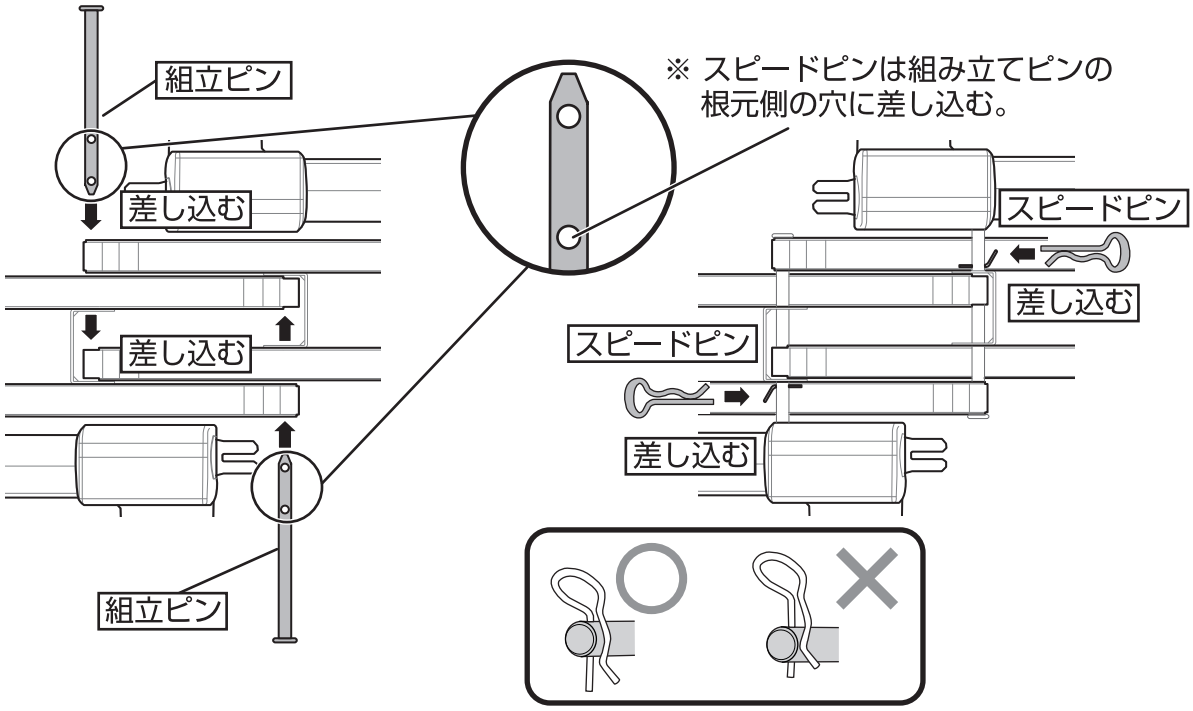
足側ベースユニット

② パーツケースをベースユニットの下に敷き、ベースユニットの高さを
合わせながら下図の用に組み合わせる。



頭側ベースユニット　　足側ベースユニット

③ 組立ピンでベースユニットを接続する。

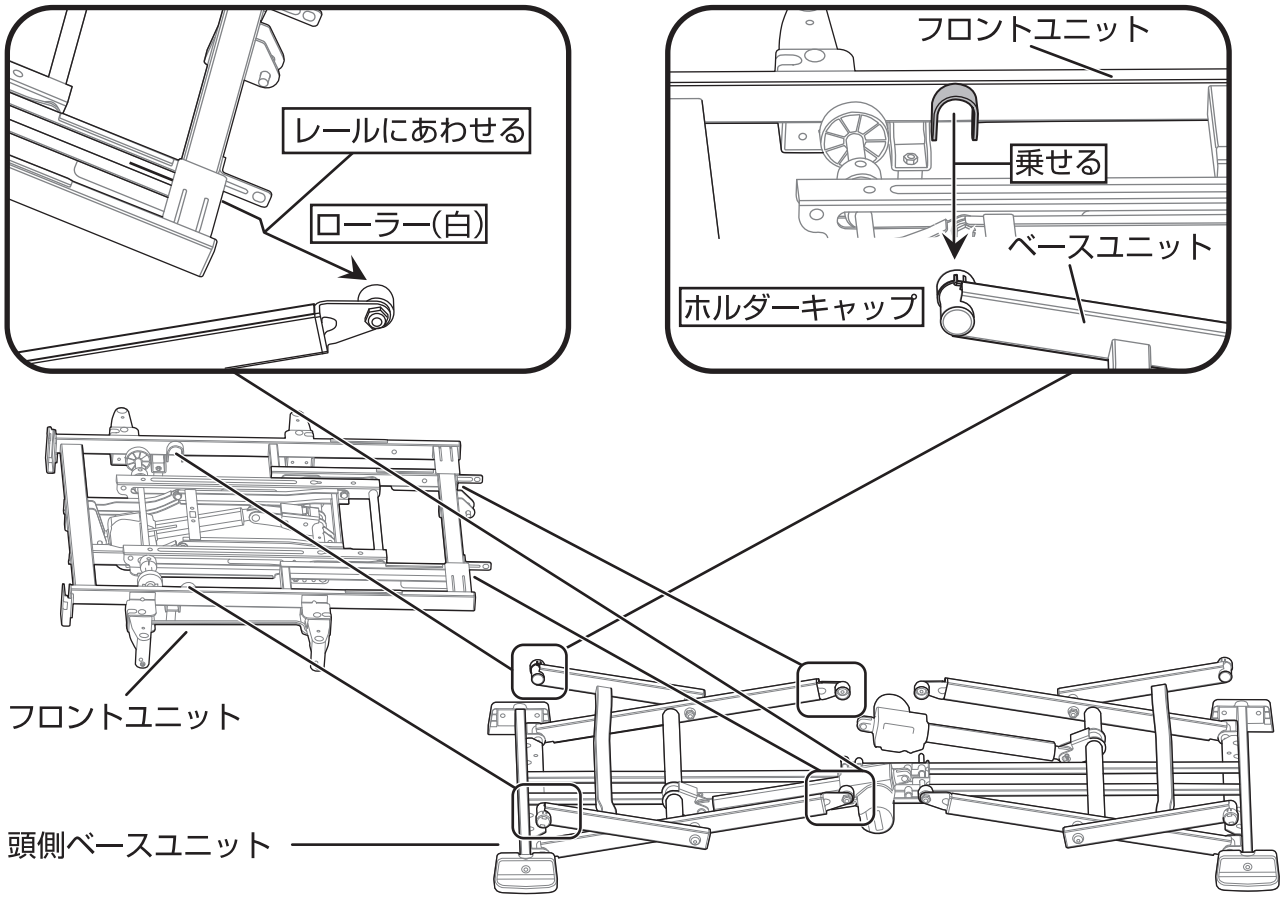


ベッドの組み立てかた

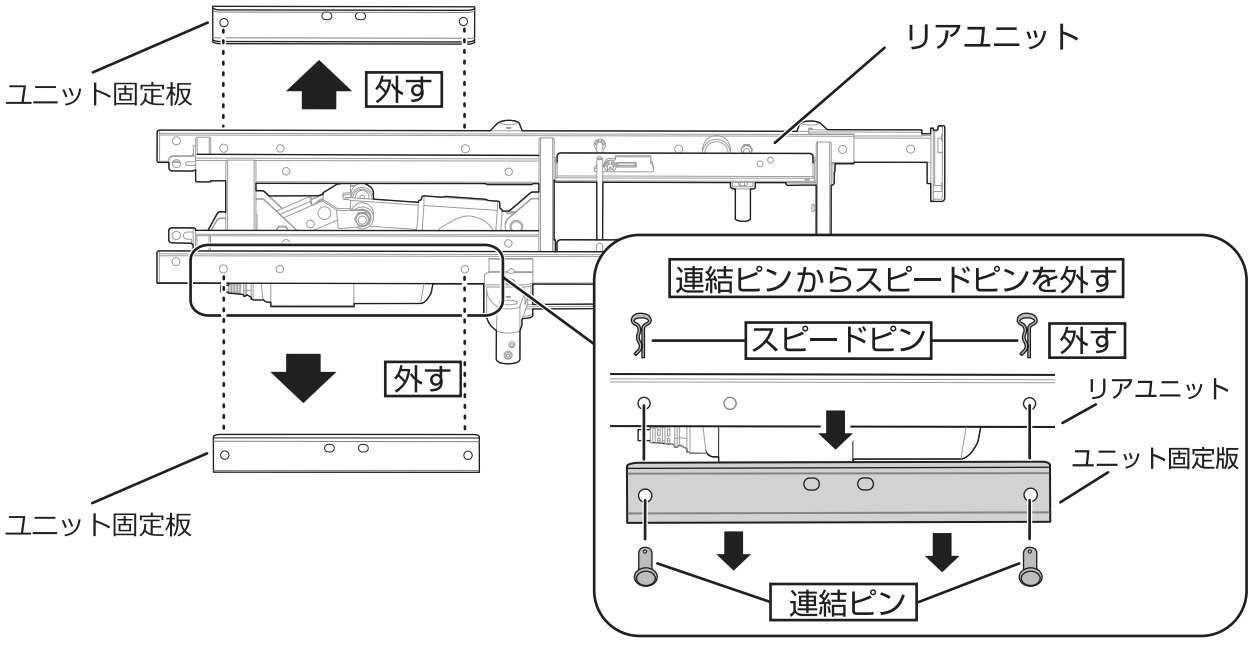
④ (③) で組み立てた頭側ベースユニットのローラー(白)をレールにあわせ、
次にホルダーキャップにフロントユニットの勘合部を乗せる。

1. ローラーとレールにあわせる。

2. ホルダーキャップにリアユニット勘合部を乗せる。



⑤ リアユニットからユニット固定版と、連結ピンを外す。



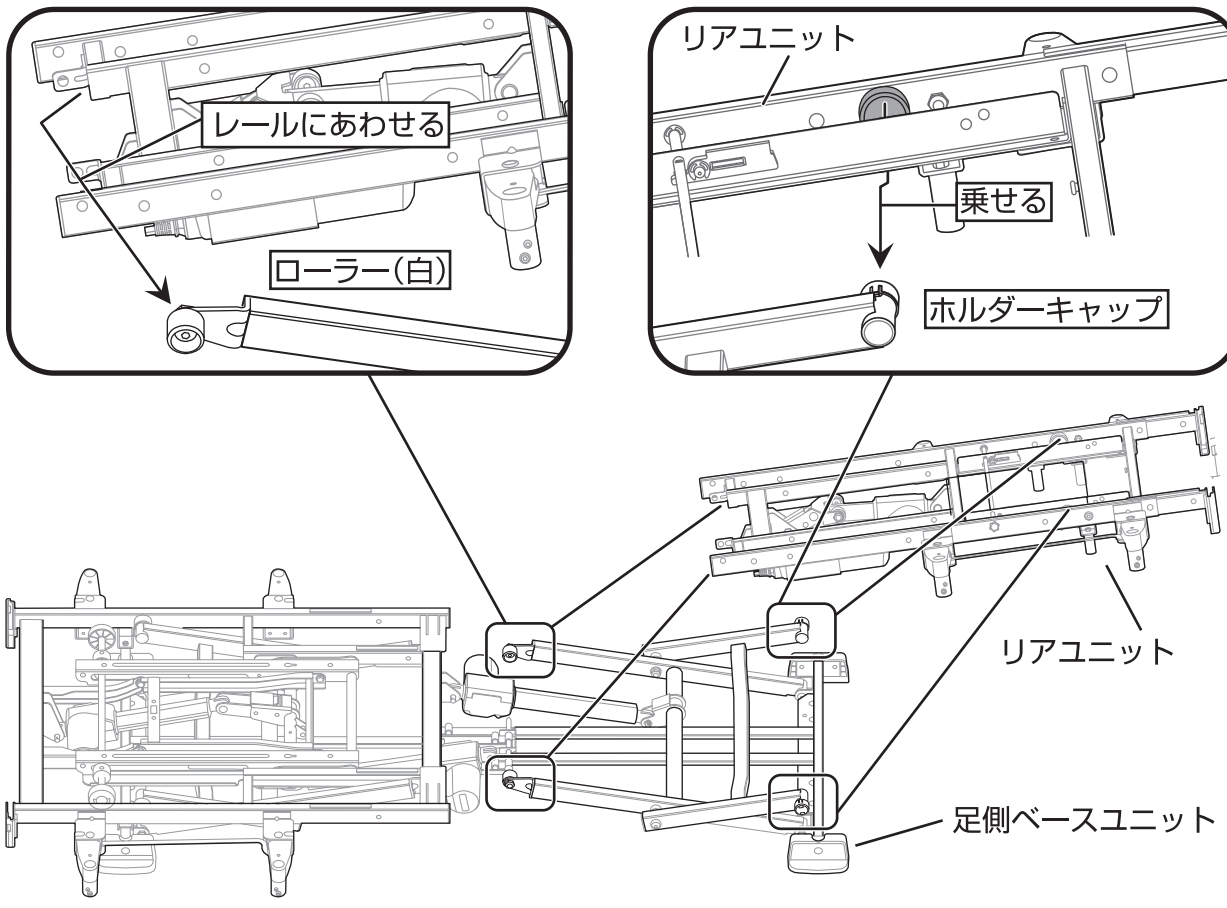
※ 反対側も同様に外す。

ベッドの組み立てかた

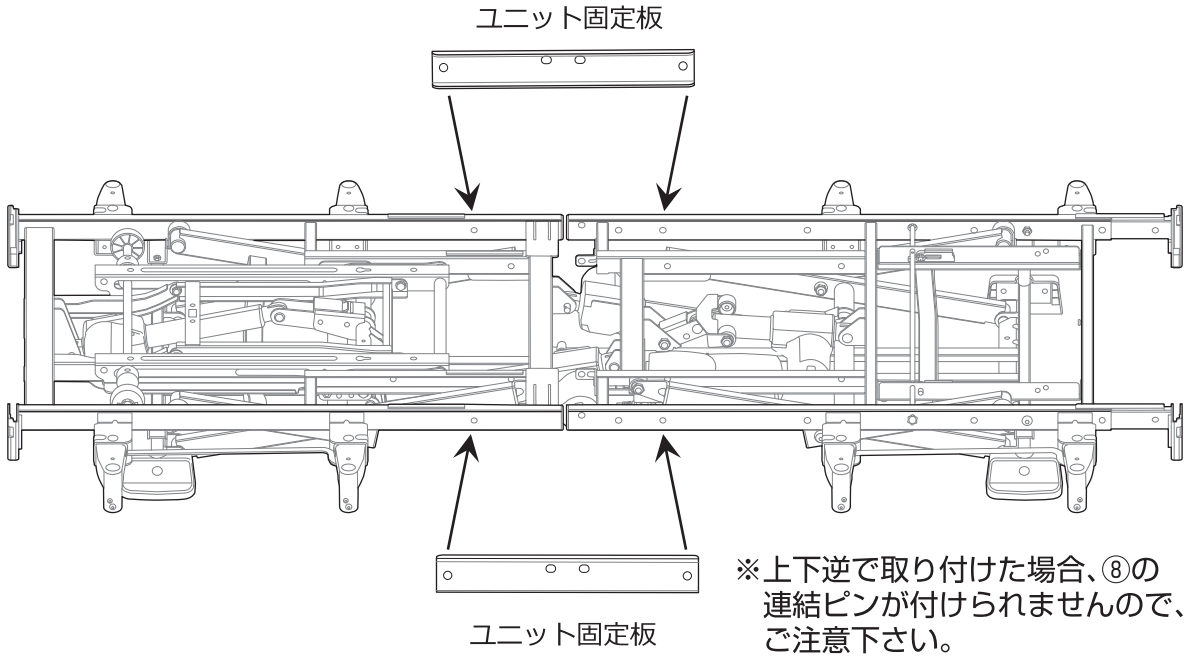
⑥ (④) で組み立てた足側ベースユニットのローラー (白) をレールにあわせ、
次にホルダーキャップにリアユニットの勘合部を乗せる。

1. ローラーとレールにあわせる。

2. ホルダーキャップにリアユニット勘合部を乗せる。



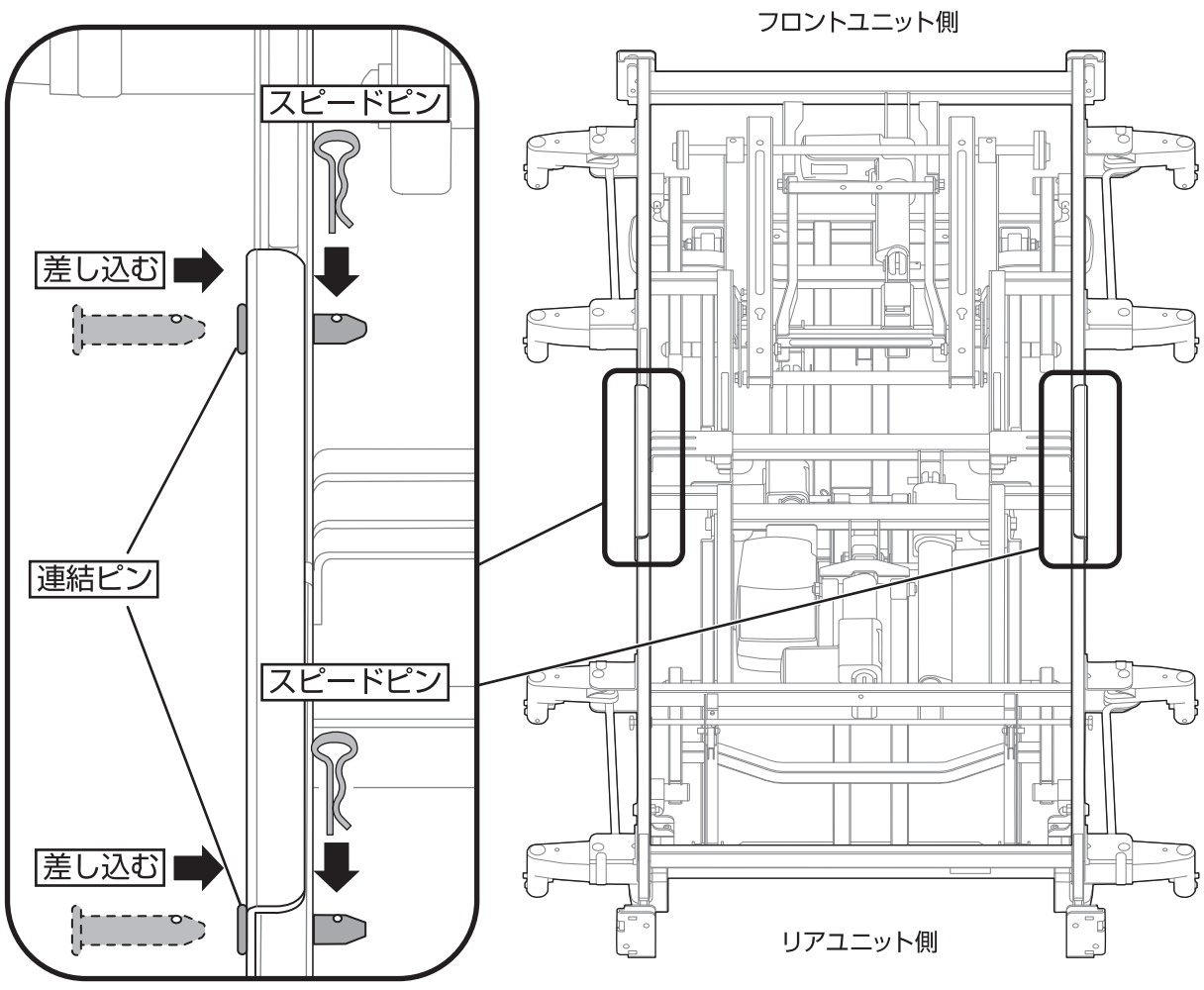
⑦ ユニット固定版で、フロントユニットとリアユニットを接続する。(両端の2か所)



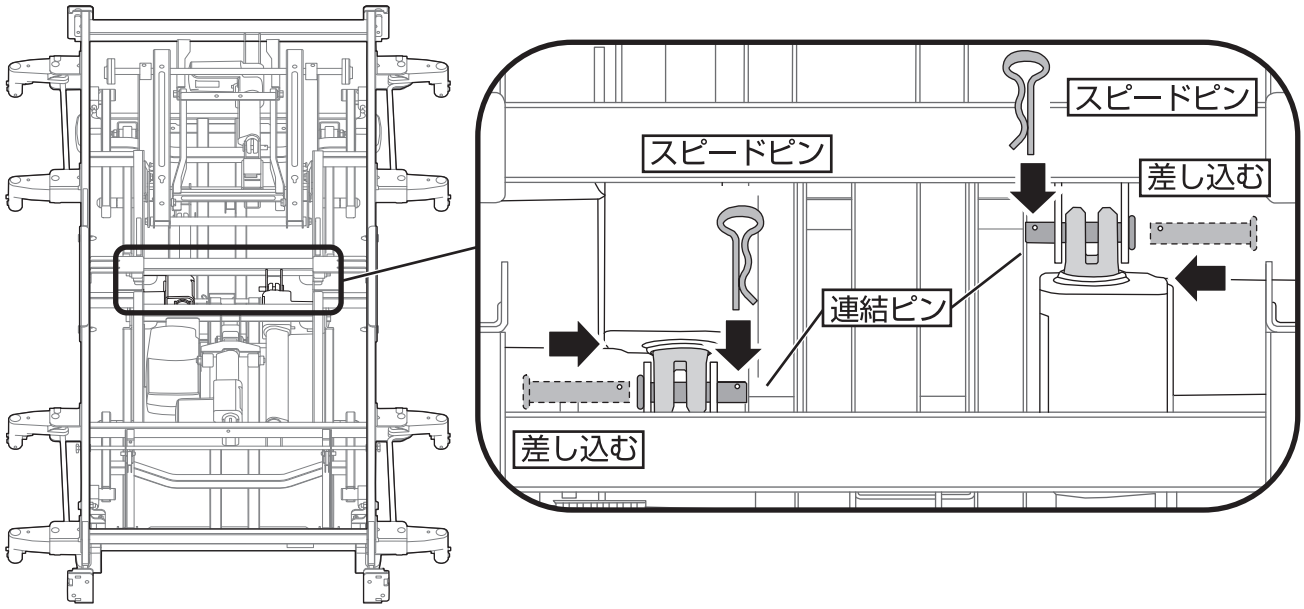
※上下逆で取り付けた場合、⑧の
連結ピンが付けられませんので、
ご注意下さい。

ベッドの組み立てかた

⑧ ユニット固定版を連結ピンで固定する。（片側2本 両側とも）

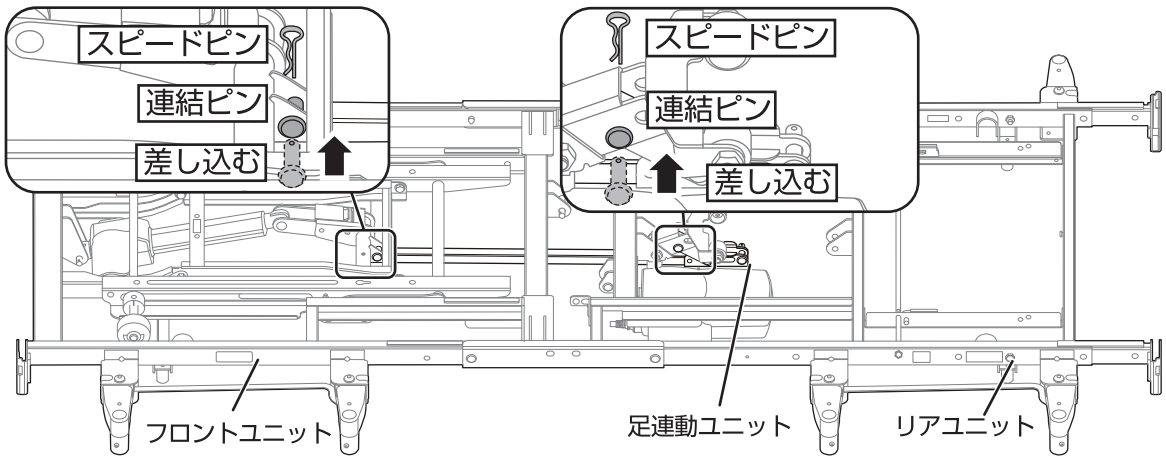


⑨ ベースユニットのモーター2本をフロントユニット、リアユニットに連結ピンで接続する。

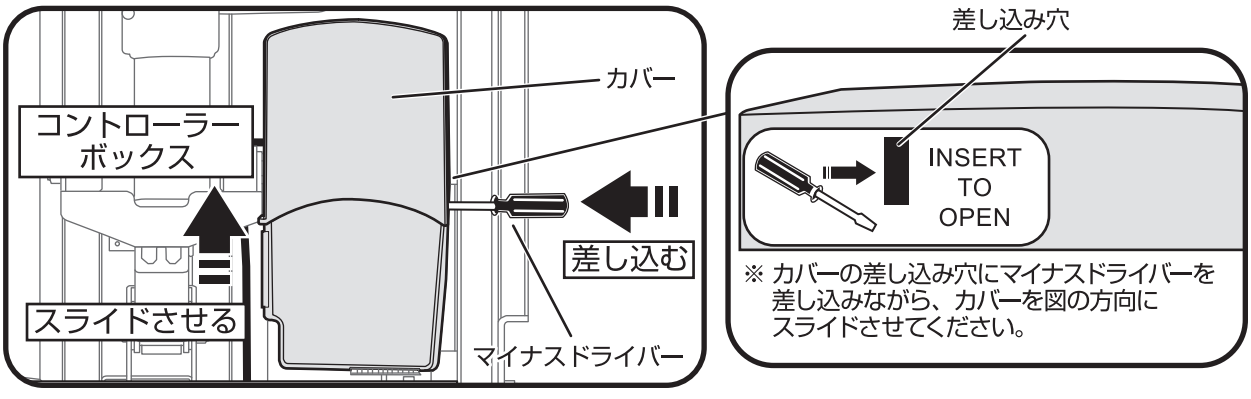


ベッドの組み立てかた

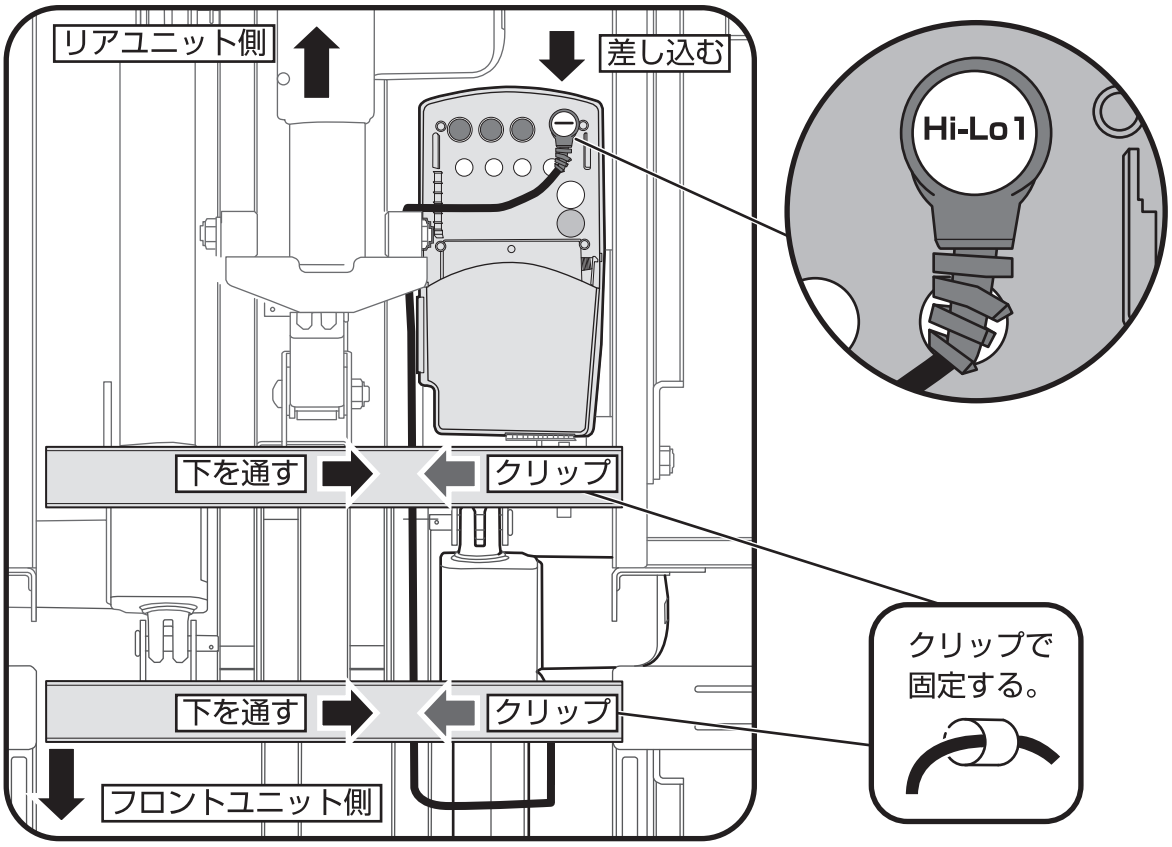
⑩ （2モーションタイプのみ）足連動ユニットでフロントユニットとリアユニットを接続する。
（⑫、⑬の配線を先に行い、高さをあげた状態で組み立ててください。）



⑪ コントローラーボックスのカバーを開ける。

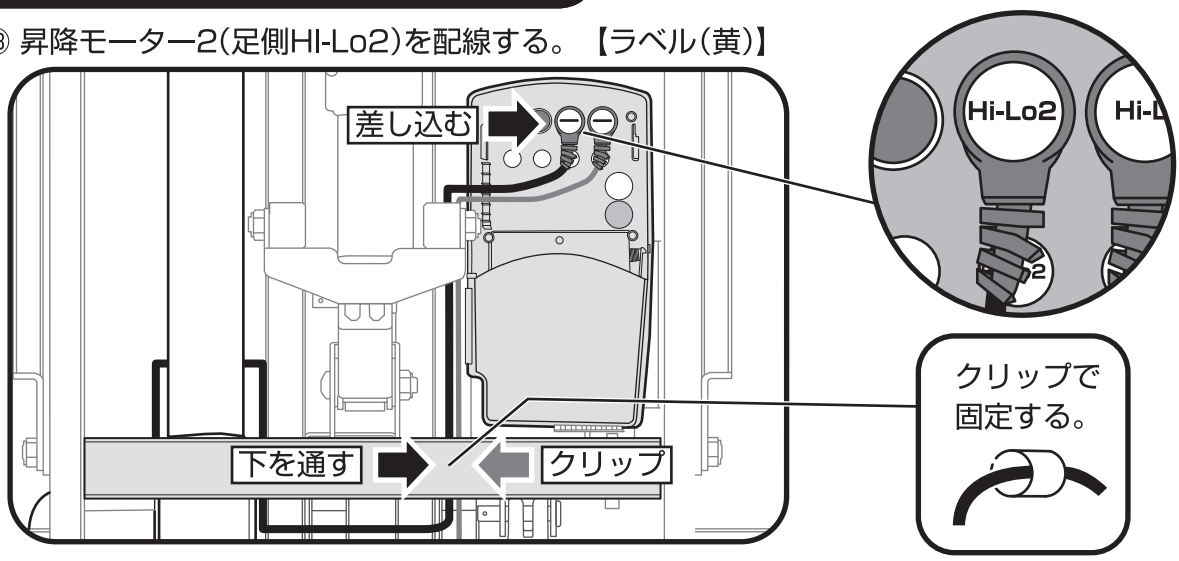


⑫ 昇降モーター1（頭側HI-Lo1）を配線する。【ラベル（白）】

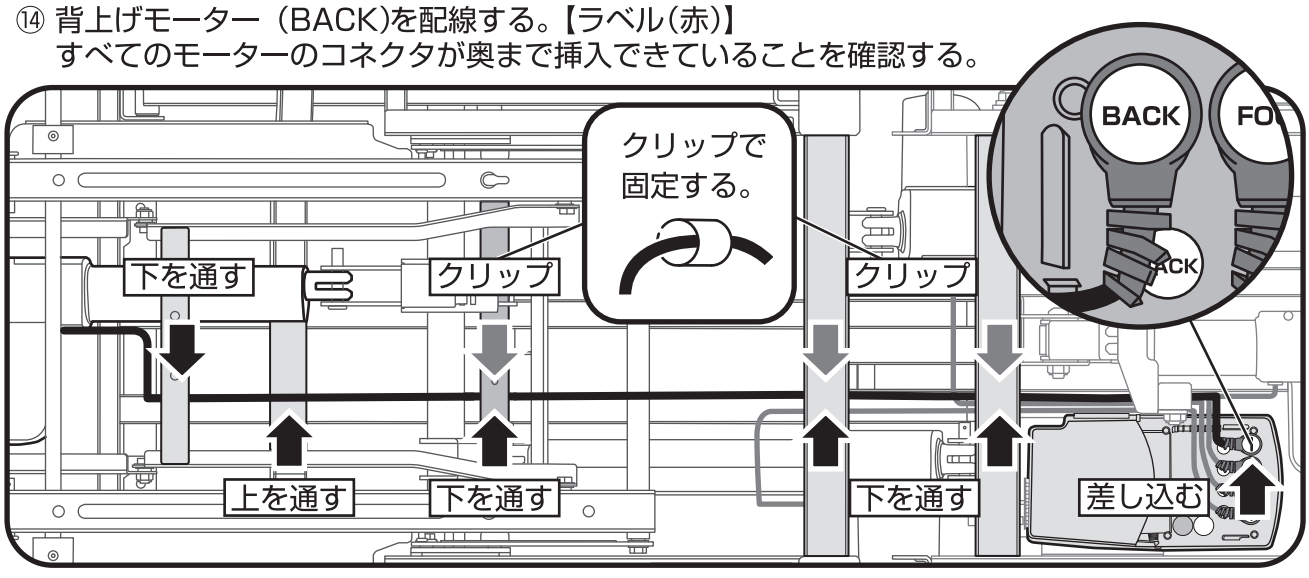


ベッドの組み立てかた

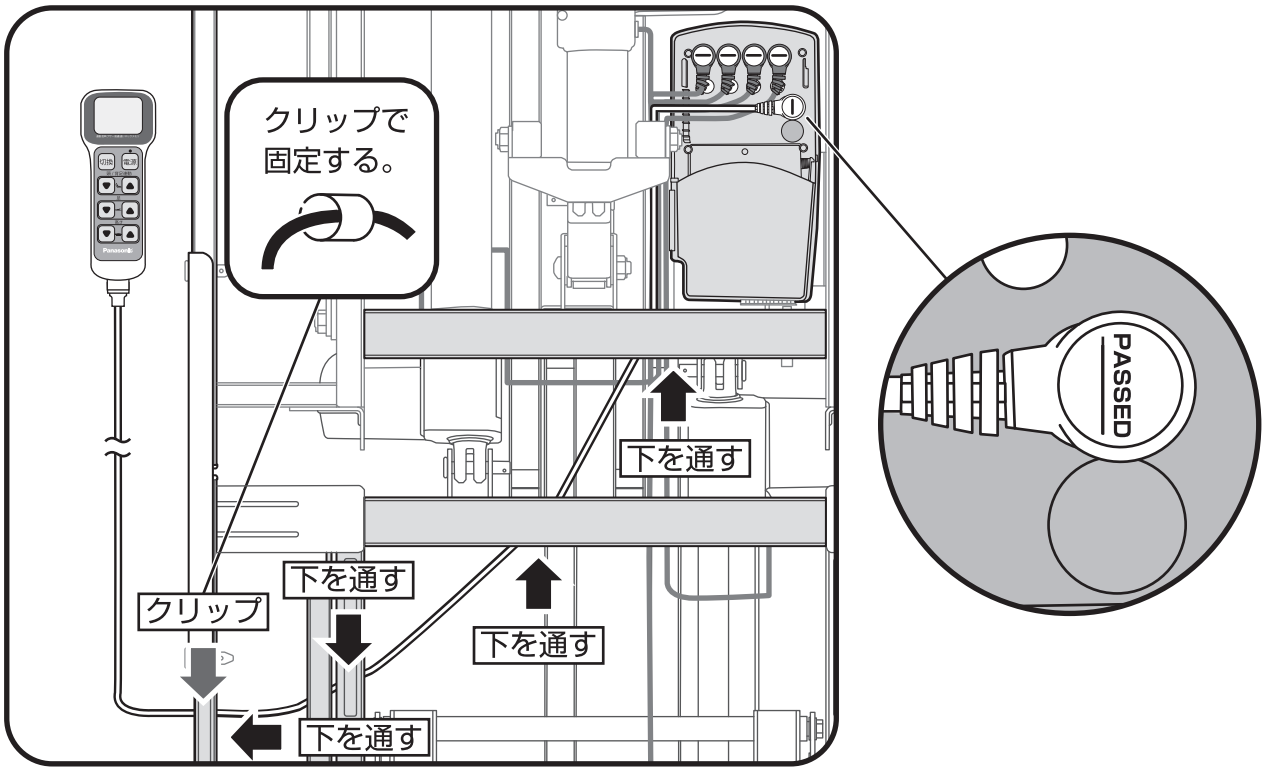
⑬ 昇降モーター2(足側HI-Lo2)を配線する。【ラベル(黄)】



⑭ 背上げモーター（BACK)を配線する。【ラベル(赤)】
すべてのモーターのコネクタが奥まで挿入できていることを確認する。

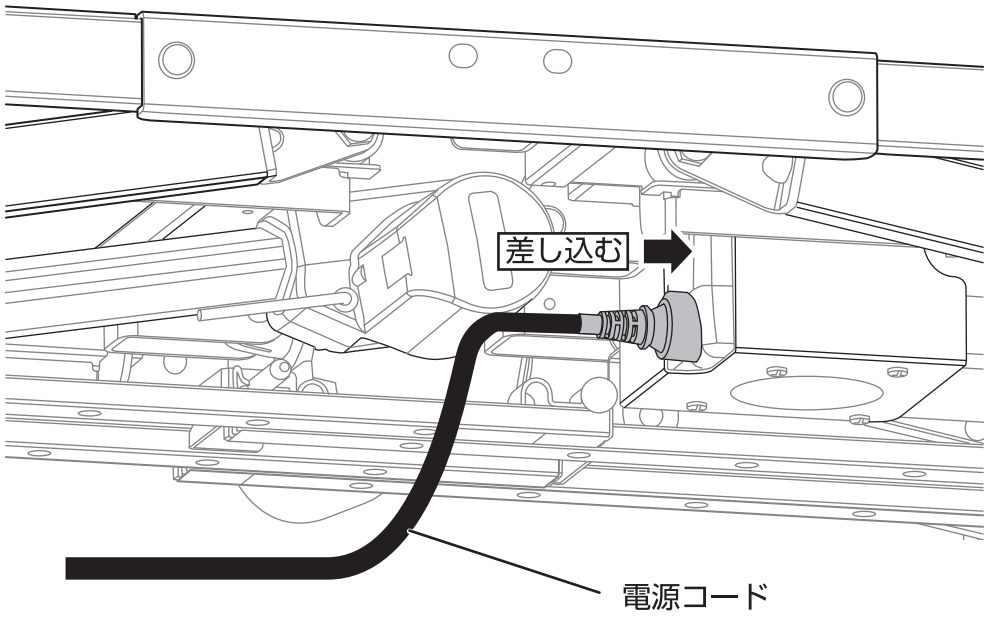


⑮ 手元スイッチを配線する。【ラベル(白)】

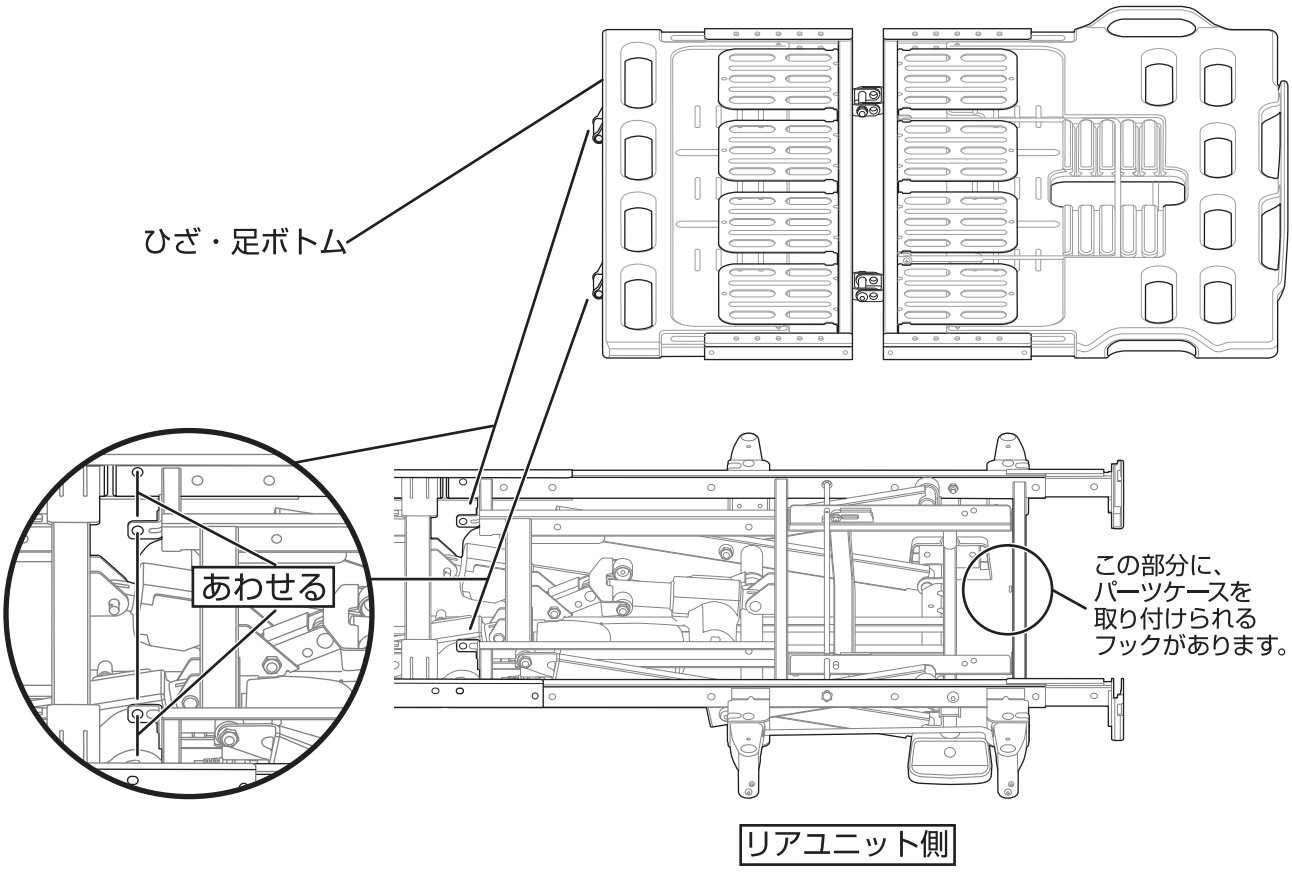


ベッドの組み立てかた

⑯ 電源コードを配線する。
（電源コードはカチッというまで、奥までしっかり差し込んでください。）



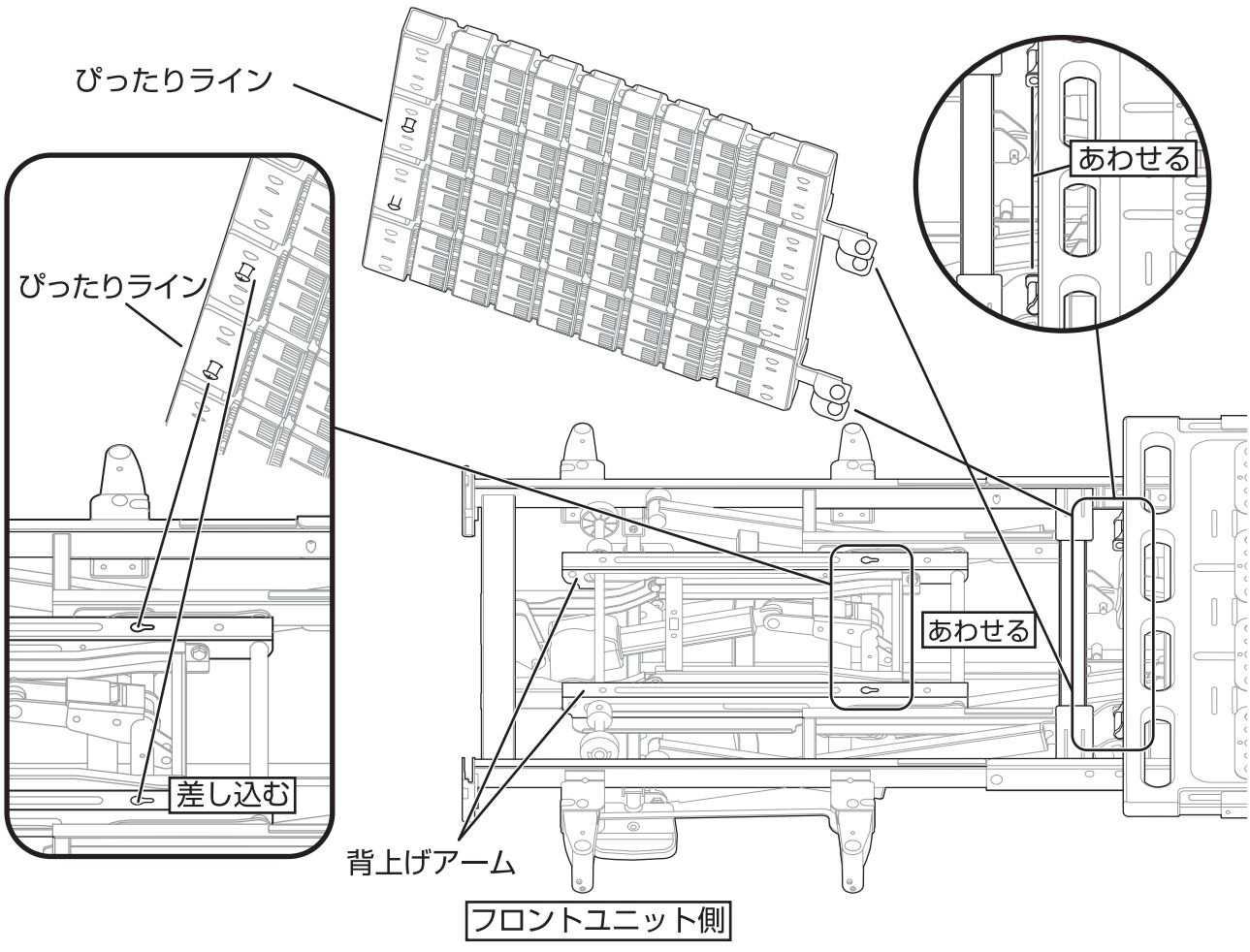
⑰ ひざ・足ボトムをリアユニット先端接続部分の穴にあわせて乗せる。



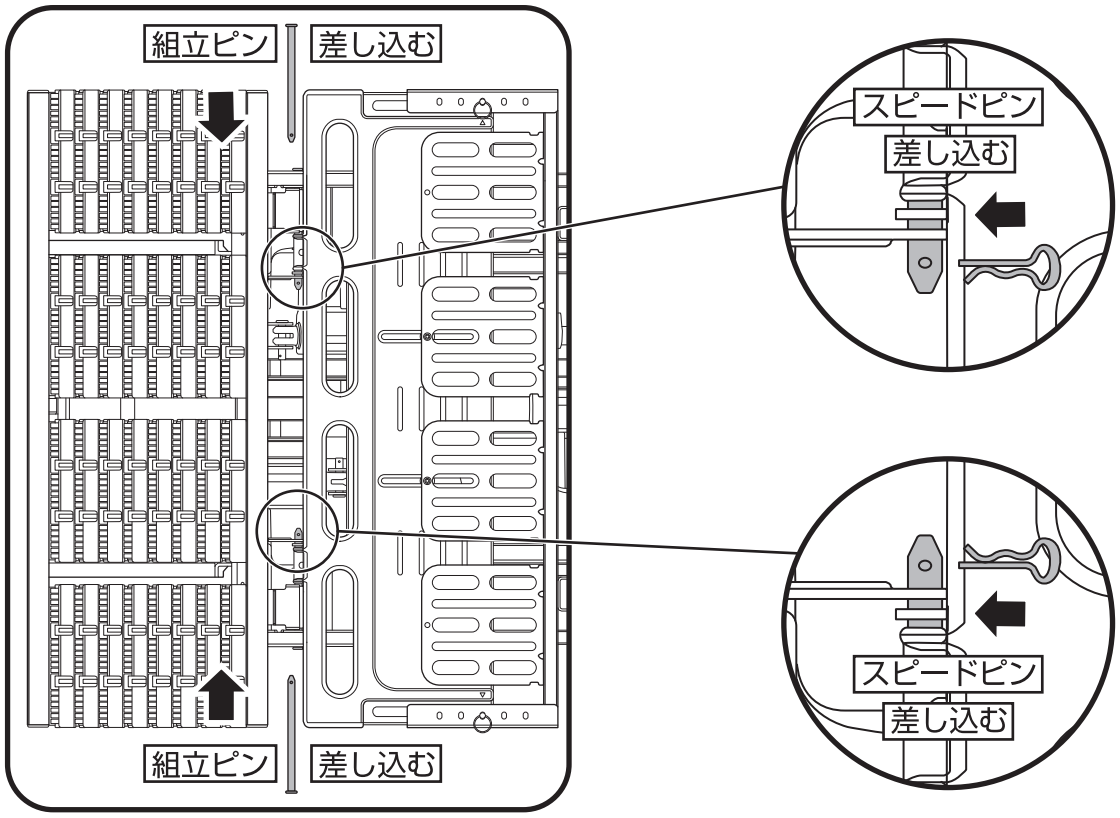
ベッドの組み立てかた

⑱ ぴったりライン先端部分(裏面)のピンとリアユニットの穴をあわせて差し込み乗せる。

※ ぴったりラインを差し込む際は、背上げアームを少し持ち上げてください。

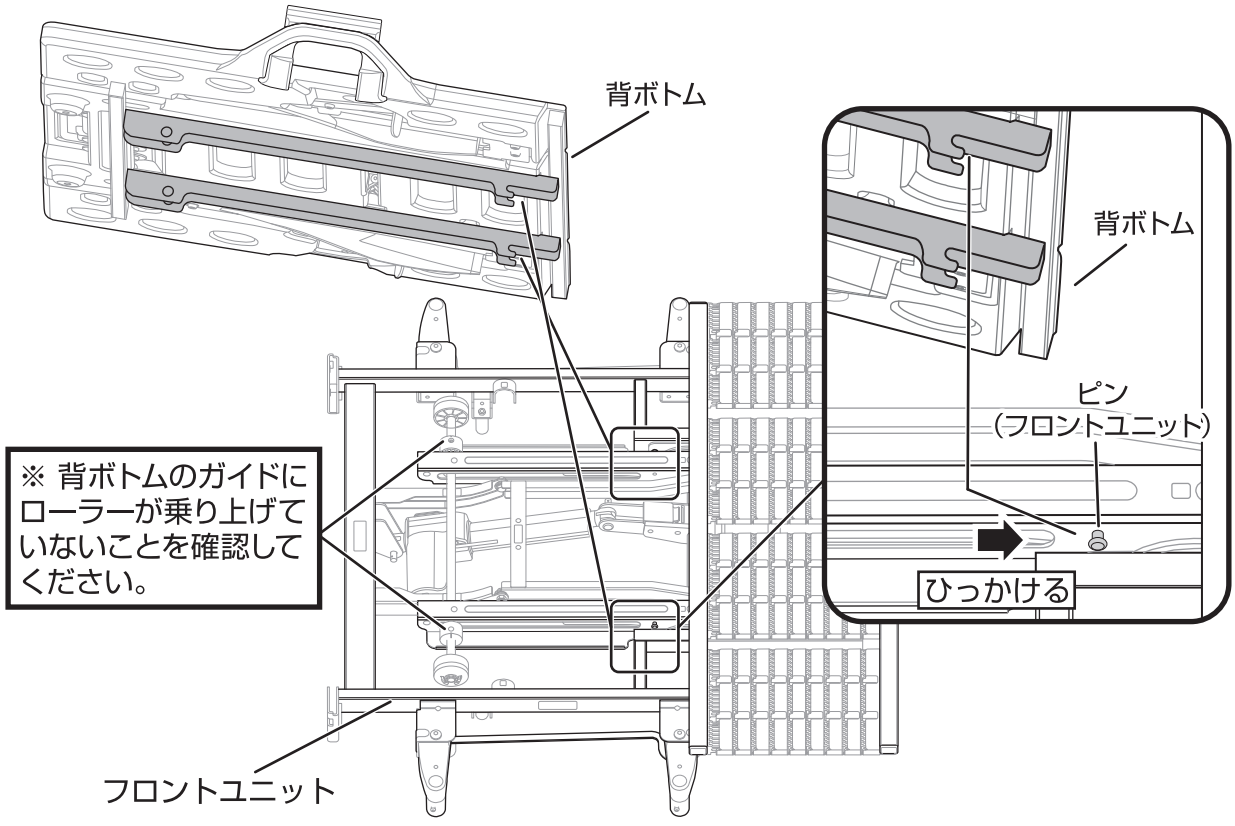


⑲ (⑱)であわせたぴったりラインとリアユニットを組立ピンで2箇所固定する。

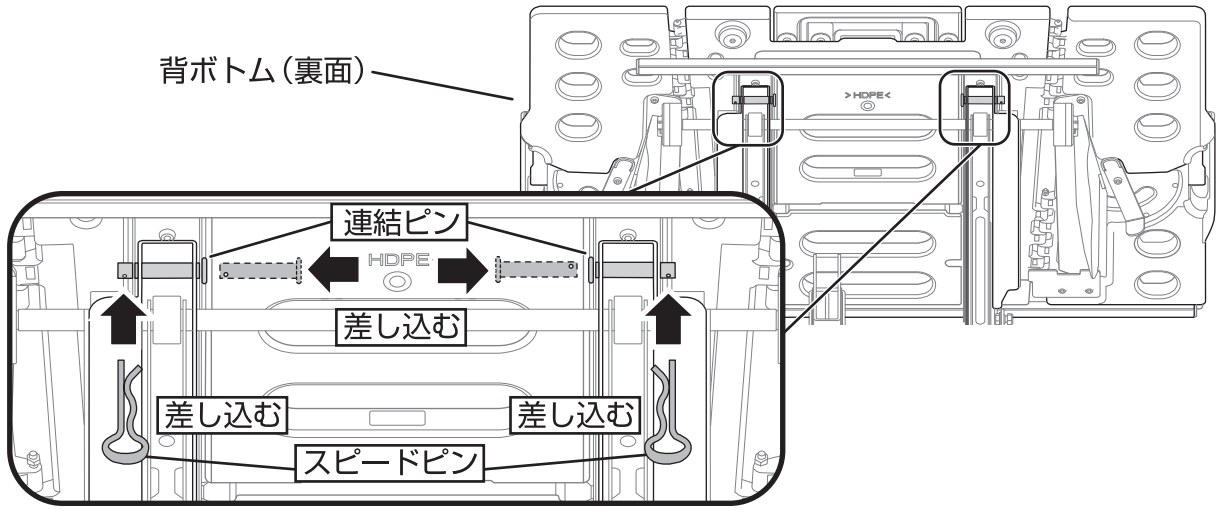


ベッドの組み立てかた

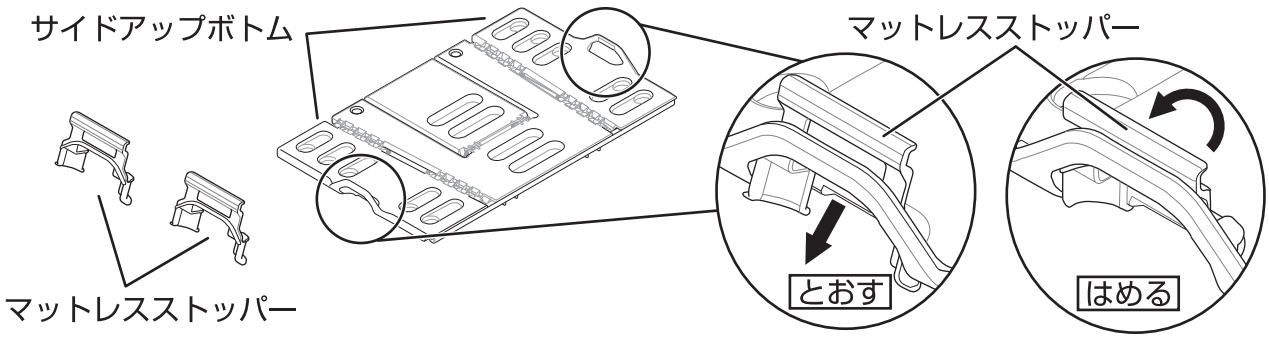
⑳ 背ボトムをフロントユニット側面（内側）のピンにひっかけながら乗せる。



㉑ 背ボトムとボトムフレームを連結ピンで２箇所固定する。



㉒ マットレスストッパーをサイドアップボトムのマットレス止め２箇所に取り付ける。

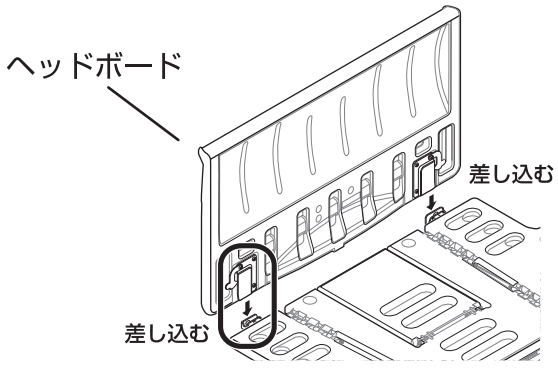


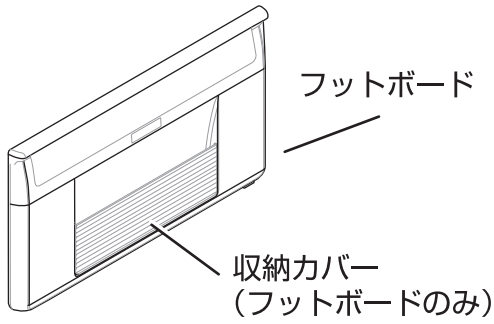
ベッドの組み立てかた

ヘッドボード・フットボードの取り付け、取り外し

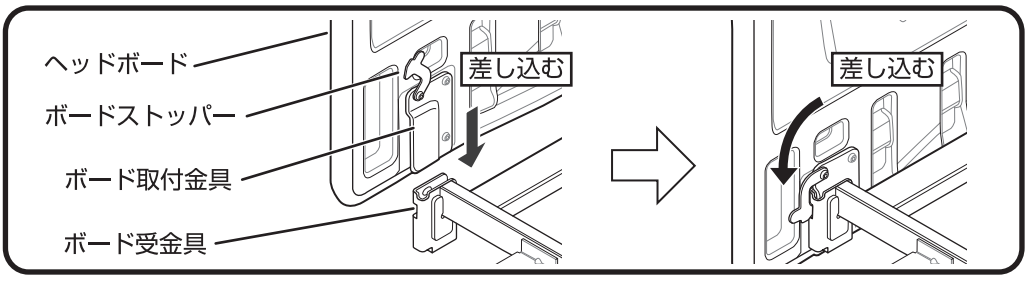
取り付けかた

1. ヘッドボード（フットボード）のボード取付金具をベッドのボード受金具にまっすぐ最後まで差し込む。
2. ヘッドボード（フットボード）のボードストッパーを図のように穴へ差し込む。
3. ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていることを確認する。





※フットボードも同様にして取り付けてください。



⚠ 警告

必ず守る

- **ボードは正しい向きになっていることを確認した上で取り付ける**
  - ・誤って使用すると、意図せぬすき間の発生や製品同士の干渉、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障するおそれがあります。
- **作業は必ず２人以上で行う**
- **可動部などに手をはさまないよう注意する**
  - ・以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

必ず守る

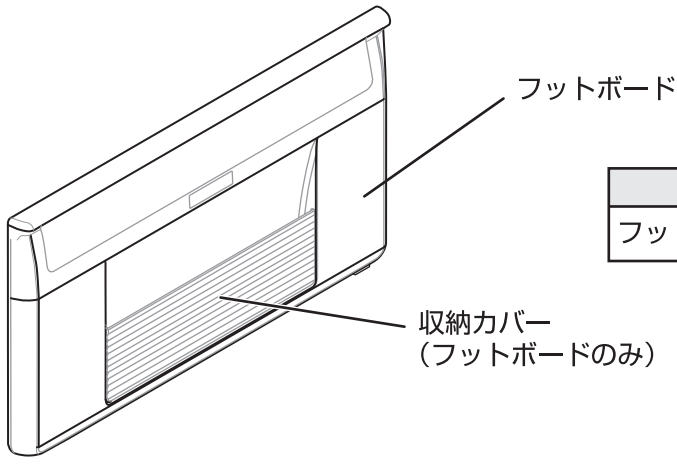
- **ボードストッパーは確実に掛ける**
  - ・掛けかたが不完全な場合、ボードが不意に外れて、けがをするおそれがあります。
- **ボードを取り付ける際は、落下させないようにする**
  - ・足に当たってけがをしたり、床やボードを傷つけるおそれがあります。
- **ヘッドボードとフットボードを逆に取り付けない**
  - ・守らないと、事故やけがの原因となります。

ベッドの組み立てかた

ヘッドボード・フットボードの取り付け、取り外し

取り外しかた

※取り付けと逆の方法で取り外してください。



	収納カバーの耐荷重
フットボード側	1kg

⚠警告

必ず守る

- **収納カバーに寄り掛かったり、手でつかまって力を加えたりしない**
  - ・収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをするおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

- **収納カバーに耐荷重を超えるものを入れない**
  - ・収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをするおそれがあります。
- **収納物が収納カバーから飛び出した状態にしない**
  - ・ベッドの動作時に接触し、ベッドや収納物が破損するおそれがあります。
- **収納カバーにものを引っ掛けたり、外側から力をかけたりしない**
- **収納物を取出すときは、収納カバーに外向きの力を無理に加えない**
  - ・以上のことを守らないと、収納カバーがフットボードから外れたり、破損するおそれがあります。
- **メガネなど壊れやすいものを入れるときは、ケースなどに入れてから収納カバーに入れる**
  - ・破損するおそれがあります。

組み立て後の点検

ベッドに人が乗っていないことを確認し、以下の項目を点検してください。
定期点検の際も同様の点検を行ってください。

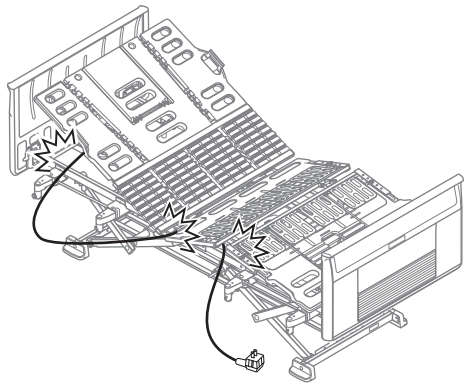
⚠警告	
必ず守る	●組み立て後は必ず点検する ・点検をおこたるとけがや故障の原因となります。

1　コード類の傷

・プラグやコードに傷などはありませんか？

☐ ない
☐ ある …… 販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

2　電源コードの確認



・コードはベースフレームの下側に配線されていますか？
・可動部と接触していませんか？
・脚座などで踏んでいませんか？
・高さ調節を最低位置から最大位置まで行い、
コードが引っ張られることはありませんか？

☐ はい
☐ いいえ …… 47ページ参照
可動部、脚座などに注意して配線を行ってください。

3　ボード取り付け状況の確認（頭側・フット側）

・ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？
・ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか？
・いちじるしいがたつきがないですか？

☐ はい
☐ いいえ ……（ボード取り付けの）50ページ参照

組み立て後の点検

4　手元スイッチの確認

・手元スイッチ本体に傷や破損がないですか？
・電源プラグをコンセントに差し込むと、手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？

☐ はい
☐ 点灯せず ……（故障かな？の）33 ページ参照

・異常音や振動はありませんか？

☐ ない
☐ ある …… 販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

5　操作時の確認

・手元スイッチで背上げ、ひざ上げ、高さ調節操作を最大まで行った際、
以下の問題がありませんか？

☐ 異常ない
☐ 異常音がする …… 販売店またはお客様ご相談窓口に
お問い合わせください。
※ 場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。
☐ 手元スイッチの数字が、
最大・最小とならない ……（故障かな？の）33 ページ参照
☐ ベッドが家具などに当たる …… ベッドを移動するか、
家具などを移動させてください。

6　ラベルのはがれ

・ラベルがはがれたり、文字が見えなくなっていませんか？

☐ いいえ
☐ はい
（はがれている・文字が見えない）…… 販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口
にお問い合わせください。

7　ベッドの滑り

・ベッドを前後左右などから押して、容易に滑りませんか？

☐ 滑らない
☐ 滑る …… ベースユニットの下にカーペットなどを敷いてください。
…… キャスター仕様の場合、キャスターのロックをしてください。

メモ

メモ

保証とアフターサービス

保証書

この商品には保証書を別紙で添付しております。
所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はお引渡し日より１年間です。
ただし、ご使用状況によっては保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。
保証書の記載内容をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのパナソニック電動ケアベッドの補修用性能部品を製造打切り後 5 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の 33ページに従ってご確認いただき、
なお異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間中は
お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況（出来るだけ具体的に）、ご住所、
お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。
保証の規程に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、
ご希望により有料修理させていただきます。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お手入れ ・ お取扱いなどのご相談は、
まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

商品・お取扱いなどのご相談は
パナソニック エイジフリーライフテック株式会社
フリーダイヤル 0120-365887
●受付時間 9：00～17：30（土、日、祝日休み）
http://panasonic.co.jp/es/pesalt/

パナソニック エイジフリーライフテック株式会社
本社 〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048 代表 TEL06(6908)8122
©Panasonic AGE-FREE Life Tech Co.,Ltd.2012

XPN-S105200B XPN-S105200M
XPN-S105210B XPN-S105210M
XPN-S105300B XPN-S105300M
XPN-S105310B XPN-S105310M
A1214-0